

痛醫活談篇碑

瘍醫活談篇目次

頭之部

樛毒頭痛

白屑風

頭瘡

頭瘟

白充瘡

暗烘頭

油風

奶癬

面之部

黃水瘡

黎黑班

葡萄疫

異子

肺風

鼻裏瘡

眼之部

眼胞菌毒

鍼眼

例睫

眼胞痰核

眼丹

椒瘡

粟瘡

眼瘡

耳之部

耳底疼痛

耳疔

耳疳

耳聾

耳疔

耳聾疳

耳聾

虫入耳

凍爛瘡

鼻之部

鼻淵

鼻齕

鼻衄

鼻痔

鼻疔

唇之部

反唇疔

鎖口疔

唇生血疔

齒唇

唇風

吻瘡

口舌之部

舌疳

舌疔

紫舌脹

痰包

舌疔

重舌

重舌

上腭瘡

牙齒之部

牙齦

牙宣

齒漏

咽喉之部

緊喉

牙疳

口糜

咽喉結毒

喉痺

漫喉

左右喉風

乳蛾風

喉痺喉風

喉瘻之部

肺瘻

喉瘻

急喉風

胃脘瘻

腸瘻

痔瘡

痔瘡之部

火瘡

紅絲疔

流注之部

流注

濕痰流注

瘰癧之部

瘰癧諸症

肉瘤

粉瘤

骨瘤

楊梅瘡

石疽

丹毒

白駝風

反花瘡

諸癰

瘰癧

小兒天泡瘡

血瘰

休氣

竹木刺

誤吞針錢骨鯁

紫莢疔

捲簾疔

濕毒流注

結核

肉瘤

血瘤

脂瘤

骨瘤

結毒

拓筋筋

赤白遊風

瘰癧風

風應疹

膿窠瘡

瘰癧

白瘡

血瘰

陰風

人文傷

瓜藤疔

透腸疔

敗血流注

瘰癧

氣瘰

筋瘤

髮瘤

風瘤

石瘰

火丹

大疔風

紫白瘰癧

瘰癧

浸淫瘡

瘰癧

漆瘡

打撲

床瘡

風大傷

中風毒

內合諸症

鎖喉

鎖耳

湯傷

鎖肝

六指

飲唇

鎖鼻

駝指

小兒部

痘瘰

痘風瘡

胎赤

遺毒

痘毒

解顏

胎瘡

驚口瘡

胎風

陰腫

瘍醫活談前卷之坤

桂園高階先生口授

頭之部

梅毒頭痛

此症耳鳴甚ノ頭痛或ハ偏頭痛人ル者牛湯或ハ

大芍黃湯選用ス又或ハ頭重耳鳴アリテ

舟ニ乗スルカ如クタハフラタタトスル者川芍

茶調敷宜シ不治者ハ大ニ五ニ散天石忠鍾散消

毒丸ノ要藥用ス若達ニ結毒トナリテ頭痛

スル者ハ桂枝加蒼朮烏頭湯猿頭散ニ去消毒丸

スル者ハ桂枝加蒼朮烏頭湯猿頭散ニ去消毒丸

スル者ハ桂枝加蒼朮烏頭湯猿頭散ニ去消毒丸

一介五厘或一介十兼用又
骨節疼痛或八頸項塊
腎反湯一足

應用方

桂枝加木烏 天石應鑒散 消毒丸

猿頭散 大芎黃加土骨皮湯

山牛湯 出百望採金門

大芎黃湯

荊防芎將菊 石

石水煎

大三五七湯

天雄山藥細辛山茱干姜防風

右水煎

頭盛

此天地不正之氣二因于生凡十三年二增寒振
々半面或八頭痛微腫赤熱甚シキハ耳鳴或頭
項二結腫或八面諸瘰癧生斗眼胞閉口
乾干乾燥甚シキハ便秘又初起先以紫明加石
羔子用七喜三干中黃子貼又熱安便ハモハ
大紫明加芒硝湯或八荊防敗毒散加硝將子用
子日結腫腰ヲノスモノハ針シテ膿ヲ浮シ
勢速見石削正外肉托又ハ此消ヨシ潰
膿ヲ十モハ八紫明加石或八荊防加石推子用
工一

應用方

大柴胡加硝

小柴胡加石湯

制附散毒加將
托裡消毒丸

油風

一、兒頭ト五是症大人小兒ニ抱ハラス毛鬚此
ト十ニ脱落ス皮膚癢痒トシテ虫ノ行カ如シ是
ナリ癩瘡ニ象シ血液榮養スルヲアタハサルニ
關テナリ癩症ハ一旦脱落ストイヘモ四五日ヲ
ヘテ又九ノ如ク生ス甚キハ脱落ス不生眉毛
ナトニ遂ニ脱落スルナリ初起片ナシ脱落ス
ルトキ少シ出血シ跡ニ金創油ヲスリコムヘシ
ト在る者癩風門ノ神志養真丹ヲ服リシ海犬湯

生取ナ蓋シ洗フヘシ此症固ク癩瘡ト忌ムヘシ
己ニ全治ニ及フトイヘトモ又癩瘡ヲ行フ
ハ辛ニ再発スルナリ輕重ニ抱ハラスニ三年堅ク
忌ムヘシ

應用方

袖應養真丹

右細末煉蜜丸

海犬湯

海犬湯

海犬湯

海犬湯

海犬湯

海犬湯

海犬湯

海犬湯

白屑風

石水煎洗患處

蔓刺

薄煎

高本

高本

蔓刺

薄煎

高本

高本

俗ニ云フケナリ髪肉ニ生ス微痒甚シキトキハ
白屑ヲ生シカケハ雪ノ如シ甚シキハ屑毛陰毛
ニ及モナリ梅毒ヲ染ルモノハ屑ノタメニ毛
髮生スルヲ不能ナリ内防風通聖散ヲ用ヒ録豆
粉赤ヲ十油ニ浸シ塗ルヘシ癢痒甚シキハ時々
龍門丸ニテ可下白屑瘡ヲ生スルモノハ紫雲
貼スヘシ

應用方

防風通聖散

竜門丸

紫雲

白禿瘡

俗ニ云シラケモノナリ小兒ニ多シ是風或ハ胎毒
ニ因テ生ズナリ内防風通聖散ヲ用ヒ白雲蓋
貼スヘシ或桃仁油ヲ又ルヘシ又一ニ雞子白ヲ
酢ニテ和シ付テモヨシ胎毒甚シキハ大黃羌
頭スヘシ

應用方

防風通聖散

大連羌

白雲蓋

奶癬

病名最難治

奶癬

白雲蓋

小兒頭上ニ地界ヲ余タル小瘡ヲ生ズ其形ナ寒

ノ如シ刺ハ周身ニ及フ痒ニ匿フシテ刀ケハ稀
水出テ愈難キモノナリ是胎熱甚ニハ因テ生ス
ル所ナリ大黃羌火燭の丸兼用シ時々紫雲ニ
テ下スヘシ或ハ馬明退湯提用スヘシ外紫雲中
黃兼提用スヘシ

應用方

紫園

端的凡

紫雲

中黃

大連美欠

馬明退湯

頭瘡

大人小兒

二限子大紫雲二梅毒千煎儿モリ八大

欽
定
四
庫
全
書

此而聖哲一曰才

解毒湯

為西廂題用

應用方

防風通聖散

大解毒加刺蒺藜湯

塘校頭

一

那或ハ弱音或ハ軟而或ハ赤亮ト名ク

俗
二
五
八

十
大人小兒二抱ハ又此小兒ニ要

是胎燕

キニ因テ生スルナリ蓋負示

髮脫落之

七
十
リ
冬
飲
肉
ニ
一
十
妻
子
丹
軍
赤
毛

一
卜
七
歌

勝子源スルイ

頭生市

愈寸凡十リ故二

八
花
月
夜

少 穿 破 スルナリ 初メ 焚 スルトキ

托哩甫

不日ニシテ各ニ発ス

不

耳聾

五

五ノ并ノ用ス

應用

力

本香海毒

耳永凡

面之部

黃水瘡

頭面耳項忽生黃粟如癰シカハ脂水ヲ流ス然

止上ホハ大ニ散漫シテ痛痒ヲ生ス是外風熱濕

熱ニ因テ生スル風ナリ防風通聖散或清上防風

湯外紫雲ヲ貼ス一シ一方古キ茶袋ヲ霜トナシ

赤ニシテ煎油ニテ煉リ貼ス一白雲散妙貼散

ノ要宜シカラズルナリ中黃清明散妙貼散

應用法

清上防風湯一太防風通聖散一茶袋一霜トナシ

紫雲

天葡萄疫

是天地不止 則氣ニ由テ不時ニ流行スルナリ是
時毒ノ者ハ小兒ニ多シ 痧起寒熱甚シク口乾
脈浮數面赤ハ大豆ノ汁ヲセリ 疣瘡トシテ集リ
出テ収ク痛アリ 瘡頭水泡ヲニハ破爛ニ及フモ
ナリ針ニテ水ヲトリ中黄ヲ貼ス初起十味敗
毒散不愈者平血欠換用ス

應用方

十味敗毒散

平血欠

紫菀

薄荷

荷

生薑

天麻

蟬退

荻

芎

枳

車

右水煎服

肺風

粉刺

酒查鼻

頭瘡

肺風ハ肺經血熱滯シテ不行ニ因テ生スルナリ此患天庖或ハ鼻ノ兩傍甚ニキハ周身曇白色

小瘡ト瘡スルナリ癢痒甚シク消風散ニシ

粉刺ハ俗ニ云フモヒナリ血氣盛ナリトモハ

花粉ヲヌルヘシ能瘡根ヲスリシテ又力サレハ

瘡聚曼クナリナリ酒皰鼻ハ俗ニ云フ口ノ

ナリ肺腫血凝甚シク生ズル初起鼻

ナリ肺腫血凝甚シク生ズル初起鼻

ナリ肺腫血凝甚シク生ズル初起鼻

ヨリ起リ甚ニキハ周面ニ及ニ先以破血ニテ酒
查鼻附茶ヲ又リ明日又破血ニテ粉刺ノ如キ
鼻外皮破爛ニ赤色或ハ紫色ニシテ粉刺ノ如キ
モノ交ヘ出ツ夫ヨリ一ヨリ投シ出血スヘシ已
ニ外皮生ズルトキ尤ノ如ク敷葉ヲ貼ニ外皮破
爛セシムヘシ何ロニ三度ハ外皮ヲ破爛セシム
メシ出血九ノ三十通位ニシテ治スルモノナリ
内黄芩清肺欠或ハ所風通聖散撰用スヘシ又ハ
三黄梔子湯
應用方
所風通聖散
查如照散

黃芩清肺欠

三黄梔子湯

全上

黎異班 又崔班

一日銅面ト云俗ニ云フハカスナリ多ク女子ノ
面ニ生ズ正宗ノ玉容丸ニテ洗フヘシ或ハ玉肌
散ヲ塗ルヘシ

應用方

玉容丸

耳松

山奈

細辛

芷

白欬

白芨

防風

菊

刺茶

姜蚕

梔子

高本

天麻

差活

独活

陀僧

枯凡

檀香

川椒

紅棗肉

麝香

一丸

同法

水

右細末用去滓鹽膜肥皂一片同搗作丸如秋冬加
生蜜五錢如皮膚乾加牛骨髓三錢早晚洗之
膚自須榮潔如玉溫潤細膩

菜豆 滑石 芷 白附

右為細末每用三匙早晚洗面時湯調洗患上

燙子

俗云云ホノロナリヒツカケニテ能々引アケ小
及ニ切トル、シアトハ紫雲白雲ノ委撰貼ス

臭蜜磨

一二滑順ト云小兒是下兩脣或ハ唇頰赤爛微痒

痛ミヲナシ是凡嬰肺ニ容スルニ由テナリ内通
心欠ヲ服サシメ外阿仙茶散或妙貼散ヲ貼ス
三連毒ヲ殺スルモノハ耳聾凡一金ヲ服ス

應用方

阿仙茶散 方出花散錄

耳聾凡 妙貼散

通心欠

芫

瞿麥

槐

岑

耳

麥門

右水煎

眼之部

菌毒ハ眼胞内ニ生ス其形大菌ナリ
 橋接眼胞ヲ及ビ内ヨリ眼力ニテ知ル
 形切一カハス甚シキモ其長ク見サズ
 ツズズ眼細リテ流ス眼ニハ十又モ十
 其又外ヨリ三角鉄金針トテ破血シ中黄
 子眼漸ク脱消スモヤリ
 例眼
 既ニ療セド眼又ハ腫ル有毛トシテ引
 示テ一歩ハ前ニ換テ御機ナリ其挟ミ肉ヲ
 小午按ニテ切眼細ク縫合シ最モスズ
 縫合

針深キトキハ愈テ后見若シキナリ糸ハ綿糸ヲ
用エ可ナリ肉薄キハ故糸ナ忌ミ跡ハ无ク矣
雞子白ニテ練リ衣上一層ナリ又リ三日ナリ
紫雲ヲ貼シテキ塗々ニ前差ニトリ如泣糸ノ枝
キ前衛ヲ可貼更上股ニアリ下ニアルモノモ治
方同シ

眼丹

眼胞ノ上下ニ生ス初紅熱腫痛シ小瘡ノ如キ
云々生ス不日ニシテ膿ヲ出ス又早ク刺スヘシ
然レバハ漏テナリテ一二年モ愈ナレモ
故ニ早ク膿ヲ出シテ疔突紐ヲ浅クサスヘシ外
裡消毒欠ニ宜シ是睥胃ニ經風熱上座ニ因テ生

スル処ナリ是患若シ治ヲ過ルトキ口久ク不愈
ニ日々白膏ヲ出シ或ハ青黑膏ヲ出ス毒アル
モノハ膿汁ヲ流ス是ヲ漏膿ト云此症ニ及テモ
ハ葛根加木烏ニ編約九ヲ敷用スヘシ少シク
口ヲ破リ疔突ヲ貼ス膿ヲ能推スヘシ或ハ薔薇
水ニテ洗モヨシ以上ノ方已ニ前ニ出ス膿
鍼眼
一ニ上疳ト云俗ニ云目疾ナリ小瘡眼ノ間ニ生
ス小瘡ナリハ不膿ナリ愈エ甚シハ膿トナ
リ若外風燕入ルトキ全面目遂ニ腫ヲ帯ル
リ刺所敗毒ニ宜シ

眼胞快瘻

瘻快眼胞ニ生ス快皮裡膜等ニアリ其勢十豆ノ如ク硬メ不痛疼火鬱滯スルニ因テ生ス重キモノハ針眼ニ擬似スルナリ起キハ害ヲナシハナリ大者ハ元患子ノ大ノ如シ婦女子ニ発スルトキハ外見アリハ是ヲ瘻セント欲セハ眼胞ヲ及ミ裡ヨリ三枚針ヲ以テ能ク挟ヲ握リ真中ニサシ瘻快ヲヨク々々推シ出シ牛胆ヲ乳汁ニテトキヌル一モ若シ瘻快収メ残ルトキハ日アラヌシテ又発ス故ニヨク瘻快ヲ推シ去ル

椒瘡 粟瘡

此等瘡ハ赤トシテ散ニ推シ難ク粟瘡ハ即チ黃膿

ニシテ散シ易シ刺防通明加石羔ヲ用ヒ七味ノ目洗方中一丹若サ赤小豆ノ大チ加ヘ可洗通明加石羔湯

刺防芎

將

當

芍

丹

石水煎

七味目洗

當紅枯

薄

連

刺

防

眼瘡外眼胞ノ内ニ生ス小者ハ小豆大チノ如ク大者ハ指頭ノ如シ甚チキハ外ニ長ク垂ヒテ難

是毒氣内伏正攻二因テ然ラシムルヨナリ桂枝
加苓朮湯ニ急遽散一劑消毒凡一命或ハカ十
ノヲルノ藥ヲ用ニサフニ汁ニテ耳中洗フ
一ニ又頭痛耳鳴スルモノハ是毒内ニ動搖スル
故ナリ大芎黃湯ニ宜シ此症ニテ舐ニ酢ルカ如
ク舐スルモノハ川芎茶調散加石羔湯ニ宜シ

應用方

川芎茶調散

圭支加蒼朮烏湯

大芎黃湯

虫入耳

虫入耳モノハ耳中ニ猫尿ヲ注入ル一ニ然ルト

原爛瘡

凍耳瘡

俗云シモヤケ耳ニ發スルナリ痒癢甚シキモノ
ハ疳風通聖散ニ宜シ癰毒ナリシテ痛ミアルモノ
ハ八味通聖散ニ宜シ外紫雲ヲ貼ス腫甚シキ
ハ中黃ニ宜シ

耳底疼痛

是凡寒襲入ルニ因テ致ス外ナリ耳底疼痛或ハ
腫レ耳根ニ及フ洩キモノハ膿十九ニ及テ刺ス
一ニ漂キモノハ綿絛ニ破歟ヲツケ深クサシ
ク一ニ然ルトキハ瘡口破爛シ膿出テ愈ニ初迄
紫胡加膿多ハ托裡消毒ニ宜シ

耳疔

耳ノ内一髪ヲ生ス痛如割甚シキハ半面或ハ頂
辺引痛ム破シテ血水ヲ流ス遂ニ疔根ヲ出ス
キハ安シ不出トキハ痛不减ナリ故ニ耳底疼痛
トハ透リ一髪ノ疔ヲ生スルヲ以テ令リヘシ疔
根不出者ハ青蛇ニ加丹各ヲ貼ル内十味敗毒加
芩連毒甚シキハ沉香解毒湯治方疔瘡ニ同シ

耳疔

大人小兒ニ不限耳内膿水臭穢ヲ流スナリ黃膿
ヲ出スヲ停耳ト云紅膿ヲ出スヲ風耳ト云白膿
ヲ出スヲ纏耳ト云清膿ヲ出スヲ震耳ト云各名
ヲ受ニストイヘモ治方同シ蔓刺子散ニ日コシ
或ハ椰子油菊花油ヲナスヘシ小兒之ヲ患ルト
キハステラスヘシ胎毒漏出ル故ニ因テ乾ク茅
初不可用若燥テ乾茶ヲ用セ膿ヲ止ムトキハ明
目項下或ハ耳下指腫遂ニ膿トナリ是力為ニ及
シテ津液ヲ消損スルヲアリ故ニ小兒ノ疔瘡ノ
治セスシテ瘡置ヘシ

應用方

菊花油

椰子油

蔓刺子散

蔓刺子

通

芍

麥門

苓

紫

菊

赤伏

耳

右十味姜枣水煎

耳聾

幸ニ耳内ヨリ鮮血ヲ出ス血熱上集スルニ因テ
出ツルヤリ三黄加芒硝湯ヲ用ヒ耳内ヲヨリ
カニキリテ常ニツヾミ耳ノ内ニ押入ルヘシ若
不止モノハ冷水ヲ以テ灌水スヘシ或ハ足ノ榮
山ニ灸スヘシ

鼻之部

鼻判

鼻判ハ鼻漏漸テ流去甚シ特ニ鼻ハ黃膿鼻於手
流ス又腦痛腦漏ト名リ兎角頭痛甚而致ハ則十
頭腦ス此頭痛余症ノ頭痛トハ遠ヒ腦中ニテ割
リ加テ痛ムナリ此寒邪或ハ凡熱腦中ニ停滯
モテ此症ヲナスナリ久シキトキハ則十膿多ク
ミテ身体枯燥遂ニ救ハレサルニ至ルモノマ
アリ初ニ小柴胡方中加辛夷石薺薄荷若シ身熱
榮作アリモハ八補中益氣加霍香ニ宜テ不効者
ハ辛夷清肺欠辛夷散ハ要換用スヘシ又梅毒ニ
因テ此症者ナリ辛夷清肺欠消毒凡一分煎

用ス一匙シキモ一類骨唇裡銀骨止ニ腫家
遂ニ破潰スルヲアル者ハ淺ク尤突維ヲ刺シ
膿ヲ出ス一匙此瘰癧刺瘡疾ニシテ諸藥効ナリ
遂ニ此症ニ至テ全治スルモノナリ

應用方

補中益氣湯

方出方筆張毒門

小柴胡湯

辛夷清涼丸

辛夷散

鼻聾

鼻聾ハ香臭ヲ不聞是ナリ辛夷散ニ宜シ又一方

辛夷散不効者此方ニ宜シ

陳桔

茯苓

薄

辛夷

芍

當

右水煎

鼻衄

鼻中出血内傷ナリ肺經ノ血妄行スルニ因テ致
ス凡ナリ三黃加芒硝ニテ下ヲ取テ不止者ハ犀
角地黄湯ニ宜シ又硝石ノ末ヲ鼻中ニ吹入ル
モヨシ若クハ鼻中尺沢ヲ刺シ又ハ頭上ヨ
リ灌水スルモヨシ

鼻痔

鼻内ニ梧子ノ如ク或ハ硬ク或ハ軟斷久大ニシ
テ下ニ生ル人氣ヲ通ヤカシム肺里ノ濕熱
肉結スルニ由テ生ス甚シキモノハ吹入ニ宜シ

己ニ治癒セシト欲セシ先内年莫清肺欠ヲ用座
ヨリ鯨乾ヲ以テ鼻痔ノ根源ヲ掘リ以銀葉ノ二
ヲ切リトルヘシ若シ相源深クシテ利莫不及ト
ハ鼻痔切リヲ以テ切リ曲毛引ニテトルヘシ
鼻痔取尽ルト思ハ、青蛇ヲ鯨條ニテサスヘシ
瘰癧余リアルトキハ礪砂散或セツトニテ同ク
鯨條ニ又リサスヘシ礪砂散ヲ指ス兩度ニシテ
可止其後ハ青蛇ニ代フヘシ咽喉ヘタル、症ハ
口中ヨリ利莫ヲ以テ切取療治三十日ハ可貼羔

應用方

鼻痔清肺方

テ出方室鼻痔門

鼻痔

鼻内ニ疥ヲ出生ヌ初秋棠粒ノ如ク寒熱ニ痛ミ
腦門ニ引鼻竅脹寒甚シキハ唇肥赤ニ腫レル十
リ早ク頂ヲ敗リ疥根ヲ推出スヘシ章ノ甚シキ
所ハ破血スヘシ瘡口青蛇ヲ貼テ外中黃ヲ蓋ス
其治方疥瘡門ニ出ス

唇之部
反唇疔
唇裡生瘡

鎖口疔

腎角或上下ノ腎角ニ生ス
右ニ症共ニ染毒瘡門ニ出ス
唇生血瘡

大豆如シ漫リニ午ヲ下ス
ニ隨ニ葉線ニテ可取年久シキトキ
ハ四辺ニ突
齒唇

上唇ノ裏中ニ生ス形ノ大豆ノ如ク漸々大ニシ
テ或ハマニノ如ク根ノ硬リシテ腫痛ニテ劇
シキモノナリ誤テ針ヲ入ルトキハ出血マ
ナリナリ日々テ遂ニ血水ヲ十カシ身体羸疾
寒熱ヲトアルモノ遂ニ治セサルナリ初ニ宗
ノ清涼毒露欠ヲ用テ青蛇ヲ貼スニ底スルモ
ハ自然ニ消散スルナリ破障ヲ治療シ難クシ
時々出血スルモノハ黄連解毒加犀角ヲ用ユ

應用方

黄連解毒加犀角湯

犀角 柴胡 薄荷 石斛 枳實 閬 井

生地 芩 知母 枇杷葉

石水漿

唇風

下唇ニ生ス痒ノ生シテ不痛腫裂シテ水ヲ流ス
是胃火上攻ニ由テ生ス涼膈散ニ宜シ外中黃ヲ
貼ス

吻瘡

上下ノ唇乾燥或ハ皸裂甚シキハ紫色唇ノ上
ニ浸ス是冬月ニ多ク寒風ニ侵サルニヨリ表
部ノ血氣枯燥スルニ由テ此症ヲナスナリ
造適散加刺藜地膚子用外中黃紫雲ノ姜糖貼

又咬ハ金創油ヲ貼シ

十可ナリ

黄蘗葉ハ

口舌之乾

右症ハ

初起右ハ上結核ヲ生シ

短縮伸ルヲアタハス

テ次方ニ身修枯燥古按逆ニ破潰シ臭気甚タシ

クシテ収シテ膿アリテ四辺頭破逆ニ瘡ヲ反花

損スルニ由テ致ス延ナリ是ハ症四十以上ノ人

用スベシ不潰前以披針給挾ハ真中ヲ刺スベシ

是血出テ頑硬和クモルハ言ナリ

益甚シキモハ山ナリ元唇口立金鎖ニ可吹

破潰后金粉散二三劑之其手眼肢痛蝕止也
モハハ言ナリ腐肉ヲモハハ薔薇水或ハ燒酎
等分加テ洗テ若癰數日ハ吹クハシ若腐肉不
取モハハハリ狀癰膏ヲ塗ルハシ或ハ腐肉多
且及花スルモノ瘡口昆布ヲ布テ燒燬ヲ用ヒ具
跡々瘡珠汁ヲスルハシ此疵口ヲシメタルナ
其他治方多シトイヘトモ知ラ奏スルナリ
又梅毒ニ因テ此症ヲナスモノ真古瘡トハナリ
及衣ナリナリ瘡蝕多キモノナリ最モ真古瘡ヨ
リハ速ナリ此症ハ五宝丹ヲ用ヒ咽痺解毒湯或ハ
竹筴黃連湯或ハ八毒丸耳承丸兼用シ毒勢益甚

瘡ノ下モア其治方前症ト同シ此患ハ真古
瘡ノ如キニアラストイヘトモ多ク不治ナリ
應用方

金鎖匙 金粉散 五宝丹 化毒丸

日象丸 樛瘡薑菜 蟾蜍汁 鉄罐膏

黃連澤心湯 竹筴黃連湯 咽痺解毒湯

木右

一二強古ト云ハ心火虛弱ニ致ス所ナリ初起古強
ヲ言諸不安精神飲食少ナリ如ク漸々古長大頑
硬ニシテ痛ナリ竹筴黃連湯ヲ可用工時破血

シテ可ナリ氷硼散金ナリ吹ニ或ハ古
下ノ紫結ヲ刺スニ此症ヲ下ニ紫結アル
モノアリ甚シヤモハ治シ難キトイヘトモ輕
症ハ治シ易シ命ヲ損スルニハ至ラヌモノナリ

紫舌方

古紫赤ニシテ脹遂ニ口内ニ蔓ス堅硬疼痛飲食
不進發甚シキモノハ凶ナリ熱ナキモノハ吉ナ
リ是火盛ニ血壅ルニ因テ致ス外ナリ目々三角
針ヲ以テ破血スニ内京脈散加石羔ヲ服シ外
金ナリ吹ニ

痰包

此症ハ乃チ腫高シテ右本ヲ指ス是痰飲由
結ニ由テナス処ナリ先口内ヨリ披針ヲ以テ包
上ヲサシ雞子白ノ如キモノヲイタス然レハ腫
退テ水ノ如ク十全氣欠ヲ用ヒ金ナリ吹入
ルニ此症包中痰液ヲ包ハ膜ナリ此膜ヲ不取
ハ全治ルナシ筋ニ云治ヲ絶ストキハ一旦効
アレトモ日ヤラスシテ再発ス飲去其膜ヲ順ノ
下モヨリ以披針ヲ舌下包中ニ貫キ兩日破破紐
トスニ己ニ膿トナルトキハ瘻契シ口渴頗
腮乃四週腫痛ヲナス其時托裡消毒欠ヲ用ユヘ
シ有痛ハ加乳沒差ハ中黃ヲ蓋ス膿漸々出テ腫
七日ニ退テ遂ニ愈エ全治セント欲セハ五十日

程八嗽トルナリ

應用方

托裡消毒丸
十全流氣丸

金鎖匙

方出古筆癰疽門

右衄

右ニニ小孔アリテ如糸出血ス是心火血熱ニ因
テ致ス処ナリ可用犀角地黃湯ヲ右上血腫ヲ貼
ニ不止モバハ蟾蜍ヲ貼シテ可ナリ是症鼻衄十
トハ速ニ套中尺沢刺絡シテ寸効ナシ若シ出
血不出者ハ香參凡ヲ服ス一シトス

應用方

血瘰

香參丸

參 麥門 當

蒲黃 煅

芋 而

耳 耳

右衄凡日三灸白湯送下

重舌

小兒舌下二小舌ヲ生ス

是ナリ黃連渾心湯服

以刺銀針ニ取片金ナレヲ吹

一カニ足心

重舌

上脘瘡ヲ生シ形ナ模子ノ如ク

瘡底ニシテ不痛

モ吹ク一カヲ吹ク又涼膈散加石ヲ用テ金ナ

上脘瘡大ニ

初起上唇大足ノ如キモノヲ生ス堅硬ニシテ
疼痛頭腦ニ徹ス身熱強リシテ口右微リカハキ
追々長大ニシテ遂ニ膿ヲ結口膿血突出テ腐肉
アリ或ハ陷蝕ニ飲食日々減シ身熱益甚フシテ
面色蒼黃遂ニ虚状ヲ見シ救ハレサルニ至ル初
寒清咽利膈湯涼膈散ノ委積用スヘシ初發先
破血杯ストレモ寸效ナシ此症ニシテ落ノ四
小孔ヲ貫スルモノ是ヲ上唇漏ト云フヨクハ
不治ナリ

古時より三少白歯生

本意は黄肉也

黄肉

半

五

牙齒之部

牙齦

ノ

ナリ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

所縫中出血スル是ナリ胃經ノ實熱ニ因テ致ス
処ナリ甚シキハ出血多クシテ且臭氣アリテ齒
不動モノナリ加味清胃散加芩犀角ニ宜シ便秘
スルモノハ調胃承氣湯ニ宜シ金ナリテ吹ヘシ
此症久クシテ牙齦不止モノ遠ニ齒齦肉脱
テ口齒脱落スル下アルナリ
一ニ宜露風ナリ齒齦ヲ引取テ膿ヲ出シ且臭氣
アリ久クシテ不愈シテ齦肉脱シ遂ニ前症ト同
ク口齒脱落スルナリ内耳露クテ服ニ人中白散

齒漏

齒漏ハ齒銀小孔アリテ膿汁出テ久ク不愈是ナリ或ハ又孔齒傍ニ漏貫ス加味清血散或ハ清胃散換用スヘシ不愈モノハ燒酎中ヘエケヒシヤコシヨ入レスナイトニテ日々小孔ヲ洗フヘシ

鎖齒疳

鎖齒疳ハ牙銀肉中尖骨ヲ穿テ出ス痛ミ刺刀如ク久クニテ遂ニ腐骨トナルモノアリ先ツ初起銀肉ヲキ尖骨ヲ出スナキハ痛ミ止ムモノナリ若腐肉トナルトキハ腐肉ヲ不残トリ出ス

應用方

清胃海火湯

牙疳

牙肉挾ヲ縮ヒ初起元患子ノ如リ堅腫疼痛身寒熱飲食不常而色瘵黃是胃經積熱上攻スルニ因テ致ス外ナリ遂ニ膿トナルト云一トモ至テウリチリハ及花ヤシム品シキハ二三月ヲ一テ及肉口外ヘ及出スル症アリ然ルトキハ餘汁飲汁ヲ効リ至ウチ恐ル一症ナリ何レ清血散シテ凶症ヲ見シテ遂ニ不治ノ症トナル是症五平以下人ニハ稀ナリ先ツ初起披針ヲ以テ破血シ及花

スルニ至リハ利便ヲ以テ反内ヲ破陣金ナセ
吹クハ内実スルモノハ加味清膏散加連壳
犀角ヲ服スシ脱スルモノハ峻補スシ度
々破陣樹ヲ行フトキハ一旦効ヲ得ルトイウ
トモ四五日ヲ一ルトキハ又旧ノ如シ実ニ不治
ノ症ナリ一人及數ノ破陣シ續テ燒燬ヲ用ヒ四
五日ヲ一テ又旧ノ如シ又續テ此法ヲ行フ三
度ニテ全治セシムモノアリ

走馬疳

一二作疳疔疔疔疔疔

大人痘疹痼疾或ハ痘后小兒痘疹后此症アリ至
テ迅速ニモナリ初起牙齦タレシヲ十シ隨テ
或ハ口齒脱落ス甚シキハ藕餅羊面ニ及フ是肝
胃虛熱上攻ニ因テ致ス知ナリ收シリ輕重アリ
トイヘトモ甚シキハ朝發シテ夕ニ死ス大人是
ヲ患ルトキハ百中一生ルアリト云ヘトモ多ク
死シナリ小兒ニ於テハ走馬疳ト云々二百患百
モ此ニ患ウルモノ度々見ズ病源候命ニ痘口
爛湯熱甚シキハ黃連解毒ニ連壳犀角加人
中白散ニ吹ヘシ其地治方數方有テトイヘトモ
効ヲ奏スルモノナシ又曰小兒此症ハ疔疔
應用方

芦薈消毒丸

右出方茎口古門

口糜

一二右糜口ノ内或右上ノ上赤腫痛ア也テ言諸
難シ矢者是ナリ是患ル火毒動スル也仍テ致ス
所ナリ固春黃連湯或正宗黃連瀉心湯可採用蒿
薇水石密ノ二味煮ツメ右上ノ又ルシ

咽喉之部

咽喉之部

喉痺

喉痺

手飲食シカタシ腫寒熱脈浮大或ハ緊早則腰
アルヲ知リ急ニ刺スヘシ腰ヲ海シスルトキハ
飲食沃通ス針口金サイヲ吹リヘシ内服風解毒
加石ヲ用テ是ハ天行ノ邪氣ニ因テイタス所
ナリ

緊喉

緊喉

一二經喉風

一二經喉風

ス痰喘盛聲不出古上黃胎脈溢大ナル七戸
ハ吉候微ナル也ハハ古上二居シキハ腫外ニ達

シテ鼻息ハ出ルヲライトモトナシ道去過心
トナシ熱心ニ血心然ルトナシ遠ニスルハナシ
ルニ至ル脈脈解毒如石或清咽利膈湯ヲ用フ口
ハヤク針ヲナシ膿ヲ洩ス一ニ少商穴破血或
ハ灸灸モヨシ此症ニシテ偏腫ルハモハ早リ
早候用ト云此患ハ梁ノ麦ハ天行ノ邪氣脾ノ実
火ニ因テ致ス新ナリ

漫喉

其病者又癰スル下縁ニシテ其色淡シ其腫微ニ
ナリ少シリ痛ハ脉微細ニシテ咽喉力乏ナリ舌上
白胎如患憂思太過ニ因テ致ス新ナリ而テ虛火

咽喉結毒

若シ身熱不去面色瘡黃足冷ルモハ同方中加
附子ニ宜シ同方清涼ノ劑ヲ忌ム此症久クシ
テ自ラ潰ルナリハ凶ナリ
其毒并同テ咽喉腐爛或ハ腐蝕臭氣アリテ疼痛
ナシ又腐爛上ニ蔓スルモノハ鼻中ハ穿破ス然
ルトナシ鼻接骨ヲ凹セシム喉癰湯ニヨロシ鼻
中ニ通ナルモノハ加辛芩ヲ用エ一ニ鯉鱗丸ヲ
服用ス又ハ腐蝕毒七八日減ス凡テキハ五
宝丹ニ三割ヲ用エ一ニ心不早治不用若五宝丹
早ナリナシ毒既内伏スルナリ喉既甚クシナリ
ナリ咽喉解毒ニ主口ナシ此症久ク不愈ナリ毒肺

ヤ入ルキハ喉嗽甚シリ或ハ痰涎イハル
アリ遂ニ声音喘濁ニテ先ニ喉嚨結毒此症ニテハ
人參銀朮湯ヲ加用スシ喉嚨結毒此症ニテハ
モリハ十二八九不收ナリ是一ニ探毒喉癰ト云
又楊梅喉トモ云

應用方

袖珍人參銀朮湯

乳贅風

乳贅風ハ咽喉乳ノ如キモノヲ生ス是ナリ天行
ノ氣或ハ心氣ニ因テ或ハ努力ヲシテ膈腫ニ痛
アリ飲食脉狀常ナリシテ肩背工凝ルモノ
ヲ乳贅風ト云シ此モノハ飲食ノ妨ヲ先利
石膈咽利膈ヲ姜撰用ス咽喉兩旁ニ出スルモノ
双乳贅ト云咽喉偏出ニ生スルモノハ單乳贅ト
云又シテ外ニテ次方ニ増長シテ受花ノ狀ヲ見ハ
スモノナリ

喉痺喉風

此症牙關緊急咽喉腫脹シテ口不開言語スル
アタハルナリ先口中力ヲ以テ牙關ヲ緩メ
金廿七ニ礪破ヲ吹シク加ヘ吹クハ其治法
緊喉ニ同

舌台喉風

此症前症ノ如ク喉シテ言語ヲ不能ス喉トモ云
此症前症ノ如ク喉シテ言語ヲ不能ス喉トモ云

閉緊急セス口右痺ス口如ギ故言諸并シ推
シ治方前ニ同シ右ニ症共ニ天地不正ノ氣ニ傷
ラルニ因テ致ス所ナリ

喉癰

乳癰ノ如クナレトモ實ニ因テ腫脹セス痛シナ
シ漫リニ針ヲ下ストキハ大ニ出血スルモノナ
リヨク心得テ利剪ヲ以テ挟シトテ決勝ヲ吹リ
シ出血不止モノハ少シリ蟾蜍ヲスルヘシ是
肺經邪熱ヲ受ルニ因テ致ス所ナリ

急喉風

咽喉卒ニ腫テ言諸シ難ニ甚シキニ呼吸ニ從
テ外ヨリ喉内ヲ指サスハヤリ金針セニ破ヲ
加ハ吹入ルヘシ聖風解毒加石羔ニヨロシ或ハ
以高ノ穴ヲ破血艾灸スルモノシ此症急ナルモ
ノハ朝ニ灸シテ夕ヘニ灸ス護ナルモノハ三四
日ヲ過ルモノモアリ緩症ナラハ治法忘スルト
イヘトモ急症ハ履クハ枚ハレナルモノナリ

肉癰之類

肺癰

肺癰必先以風寒暑濕之感受於肺氣肺中二痰滯
之致致於肺中其初起惡風寒咳嗽聲重如胸膈
隱痛或煩躁身傳熱大凡下下久入久入之
鼻流清涕膿痰臭於口中或吐或喜之八則胸膈滿
呼吸不利飲食減少脈洪之熱時々胸膈汗生
スルヲ初起先以小青竜加石膏用之少
少汗之藥之少汗之得汗後熱少紫胡吉更湯
用之少黃膿ヲ吐スルニ及之先以礬腰湯排膿
散之合方之吉更白散之六分用之大二吐之
ハトホ其毒大ニ減之若日瘰癧之十又十

或ハ消毒丸一合ヲ服用スルモ、若シ腫減セ
サルモハ、八日巻リ吉更湯準繩ノ午黄散服用ス
シ腫血太ニ減シテ身体腫痛シ咳嗽不止、午后
發熱而面色赤黄、額骨赤唇舌乾、午足掌中煩熱
シ指甲反スルモ、若シ十日己ニ前狀トナラントス
ルモ、十日先ハ、癰腫湯ヲ用咳嗽初止ムモ、
若シ吉不止モハ、山又云脉浮或微數ニシテ初腫
疼、身出汗飲食无味、十日己后腫漸々減少スルモ
ハ、若シ脉洪數寒熱、身熱而赤汗多黄腫如膠枯
固、若シ氣急ニシテ身重ハ、煩シ指甲紫ニシテ反腕
痛シ、若シ腫痛リ鴨ノ如リシテ臭息高キモハ、ハ、
ニ、身體消枯甚キハ、至テハ、声啞シ咽痛ス此肺癰

ニ、初起癰ニ疑似スルトモ、初起表症ナリ、漸々
咳嗽ヲ十又モ、十日之ヲ患ルモ、ハ、百死一生
ノ症ト可謂此症七情勞役肺脾ヲ損傷スルニ因
テ致ス、所ナリ是内科ノ預ル所ニシテ予カ預ル
所ニアラス

應用方

癰明吉更湯

癰脂湯

言更百散

壯丹反湯

癰膿湯金

癰膿散金

十三味吉更湯

準繩牛黃湯

壯

芍

地榆

吉

苓

薏

升

右水漿

胃脘癌

初起前症ニ疑似スレトモオホト甚シカラス胸膈
痛シ少シ脈微数ニシテ心下硬滿スルヲ以テ
知ルヘシ失張胸膈ノ如ク膿血ヲ吐スルナリ然
レトモ胸膈トハ遠クテハ漏ラサレナリ正宗ノ
排膿散ヲ服シ若シ膿少クシテ胸膈痛ムモノハ
少シク言更日散ヲ用ヘシ然シ急ニハ治シ難シ
又腹外ニ属シテ外ニ破潰スルモノハ治シ難
疽内ニ詳セリ

腸癌

腸癌ハ瘀血留滯ニ因テ生ヌ故ニ十二六七ハ婦
人ニアリ初起小腹痛ヲ奔豚ニ似テ小便淋瀝シ
腫塊ヲ按スルニ上段ヨリハ底ニテ漫スルモノ
ナリナリ以テ強ク探ストキハ痛アリテ熱又沈
モノナリ病ニ疑似スルモノナリ病ハ陰囊ノ牽
痛スルナリノ症アリ先大黃牡丹湯ヲ用ヒ之ヲ
下ス外キハ毒大ニ破シテ膿ヲサストモ病熱少
シク破スルナリ己ニ成テ腹中疼痛膿滿不食ス
ルモノハ薏苡湯主之煩症ニシテ膿血ヲ浮腫
塊漸々減スルモノハ大黃牡丹湯ヲ推シ用ヘシ

若し腫脹せむルモノハ五宗用排膿散牡丹皮散
ノ委可撰用又産后腸癒アリ産后惡露不尽瘀血
小腸ニ結シテ此症ヲナス治法前ニ同シ又前症
ニシテ腫脹アリテ臍突腫シ皮色紫黒ニシテ皮薄
ク遂ニ自潰スル者アリ此症ニ及フモノハ不治
又云及裡膜外ニ癰ニ因テ法流注ト同シ初癰漸
リ是外症ニ属スルニ因テ法流注ト同シ初癰漸
症ト同シヤウナトモ奪脉ノ症ナリ追々腫大
外ニ増長スルヲ以テ知ル此症産后多シ
此症満腫スルトイハ腫退リトイハトモ疑リハ余
腫ヲ消スルトキハ腫退リトイハトモ疑リハ余
餘リ源クサスベカラス

又云或ハ腸癒大腸ニ癰スルモノマレニアリ臍
傍ノ右辺ニ寸ヲ隔テ、痛ヲ以テ分ツヘシ病症
治方前ニ同シ總テ腸癒ハ小腸ニ多シ大腸ハ至
チ希ナリ其他内癒ノ諸分脾癒肝癒心癒腎癒各
分先ス其治方諸癒胃脘癒ニ同シ故ニ此ニ畧ス
又云腸癒注ニ似タリ然レトモ腸癒暈アリ流注
ハ疾ヲ結フトイヘトモ暈ナシ

薏苡仁湯

薏

仁

牡丹皮

桃

芍

右水煎

痞瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘰

瘡癰、所謂積聚癰、ナリ内症ノ過度、氣血不順ニ
依テ致ス所ナリ初起、脇傍ニ當リ小ヲ結膜中ニ
生シ外ニ出スモノナリ動作ニ牽引シテ作瘻久
則漸々大ニシテ破散色甚則痛強シテ内ニ動カ
ス然ニ至テ飲食日々ニ減津液敗脱シテ死ニ
及フ何レ初起塊長セサル内先阿塊化瘡散加尻
扶根、薏苡仁ヲ用于塊次方ニ消スルモノハ順又
希シニハ二三年モ一ニ服スモノアリ然レトモ
醫不治ナリ

疥瘡

夫レ疥ハ釘之其痛劇クシテ釘ヲ抜ルガ如キ疼
以テ疥ト云又一ニ釘ヲ抜ガリ夕ル形ヲ以テ疥
ト名ク初起其形ナ粟米ノ如キ小泡ヲ生シ頂尖
字ノ如ク紫赤ク暈四辺ニ漫ス又甚シキハ暈紫
黒ニシテ四辺一尺ニ及者ナリ是又リハ逆症ナ
ル一ニ寒熱患寒口中乾キ小便赤リハ疥ノ初起
常ノ症ト心得ヘシ此患多ハ節候ノ寒濕或ハ歎
羨之患、屢等開創スルトキナト此氣ヲ小ケテ生
スル者ナリ先療セント欲セハ湯液ヲ以テ毒ヲ
排シ早ク乱刺シテ凝血ヲトリ且是ヲ以テ疥瘡

セシメ膿ヲ出シ続テ并根ヲ出ス一ニ并根不出
トキハ破潰后調理屋リ且瘻症ヲ発スルヲナリ
乃十正宗ニ夫レ并瘻ハ乃外科迅速。ナリ須
奈タ死ト云ナリ故ニ能意ヲ尽シテ治ヲ施ス
シ夫并瘻ノ名種類マリト虫臣治法形狀紛々
ル一症ヲ云ミ經絡ニ依リ或ハ病形ヲ勿以名ル
ナリ

火瘡并

此患面部之唇口中牛掌指節間ニ發ス初起
紅黃小泡痒痛毒氣劇シク火瘡ノ如シ尖頭ヲ家
ツモ發スルモノニシテ其中一處ニ紅黃小泡ア
ミ中黃ヲ蓋ス者ニ膿少クシテ并根不出者ハ破
潰ニ丹毒ヲ加卫照ス一ニ是則拔并ノ法ナリ火
瘡并面部ニ發シテ毒氣劇シク膿少クシテ腫高
リ二三日経テ口乾ナ水ヲ好シ大便秘シ煩悶シ
心氣恍惚トシテ或譫語シ甚シキハ瘻口堅リ里
陷ス堅腫咽喉胸乳ニ蔓延シテ飲汁通セザルモ
ノ油斷ス一カラス是熱毒甚シテ表發スルヲ能ハ
ス既ニ内攻スル者ナリ急ニ正宗黃連解毒湯亮
石犀ヲ加一奇効ル者ハ汎沓ヲ如ク可用便秘
甚シキモノハ内疎黃連湯ヲ以テ二三ヲ取ル
ニ和氣ハ一切ナ味敗毒散ヲ可用煩症ニシテ膿
迫ニ出ルモノハ托消ニ宜シ又云并瘻并瘻

一身在野ヲ令タス流注スルヲ更ニ急ニ起得加
本府醫用ヲ最用スニ或滿紅江襲ニテ莖シ
テ可ナリ何レ疔瘡流注スルモノハ疔毒甚シト
油斷スヘカウ又治法流注内ニ死スル者アリ
油斷スヘカウ又治法流注内ニ詳ナリ
又云一切疔瘡形變腫痛切リ項滿ニ脈細或ハ内
腫下痛不腫癰頭血水ヲ出ス或ハ疔頂ノ上下
刺シテ痛ヲ知ラサルモノ煩燥咽乾足冷氣アラ
ク痰動喘急スルモノ是皆疔ノ凶症ト心得ヘシ
紫莖疔

此症火燭疔ニ度ニテ毒劇シキモノナリ此症初
ニ紫莖疔ト名リ癰疽疔見リシ暈モ紫莖ニナ
瓜藤疔

瓜藤疔ニ生ス或ハ羊面ニ生スルモノナリ延
蔓元數ニシテ暈甚シテ小粒四五粒ヲ大粒々ニ
疣瘡ヲ癰スルモノナリ各瘡頭ニ針シテ稀膿ヲ
推シ出シ中黄ニ青蛇ヲ貼シ肉十敗加苓連ヲ用
ヘシ狂キハニ三度重キハ四五度針シテ膿血ヲ
尽クトルヘシ其時患者痛苦ニタヘス昏憤スル
ヲナリ水ヲ心胸ヘリキ冷スニシ然ルトキハ
酒生スルモノナリ此患小兒ニ多シ治法過ル
トキハ更ハ凶毒劇キトキハ一度ニ羊面ニ延蔓
ニ麦症ニ癰ス故早ク治ヲ施サハ七ハ救ヒカタ

シ大人之ヲ患ハ小児ホトニハナキモノナリ
順違其他治法前ニ全シ
扱瓜藤疔ノ出シ方ハ鬚脱落スルモノナリ、后三
十日許ヲ至テ又一方ノ鬚モ脱落スルヲマシ此
レニテ毒甚シキヲ知ヘシ

紅糸疔

此患多ク年足ニ生シ漸々紅糸ヲ発シ是ヨリ発
テ膿已下甚シキハ波下疳ニ及者アリ先病原ニ
針ヲ天ヨリ紅糸ヲ傳ヘニ寸ヲ隔テハ破血ス、
ニ紅糸上ニハホルトキハ死スルナト、云ナリ
俗説ニ非ナリ紅色ヲ発スルハ患持スルニ毒
教ニヤルト思ハシ故ニ多ク治シ易クナリ其他
治法前ニ同シ

又云破傷濕ニ因テ紅糸ヲ発スル者アリ何ツレ
表部ハ血凝ヲ紅糸ヲナスヲマシ然ル故
ニ疔ニ限ラズ此症ヲススヲマシ然ル心得ヘシ
又五疔繩ニ疫死ハ牛馬豚羊ヲ開割スル毒ヲ受
テ疔ヲ発スルクハ年足或ハ頭面胸腋ニ発スト
云ヘリ此ニ筑海ニ於テ夏月此症アリ俗之ヲ味
テ牛瘟疔ト名ク此症所在テ定メス卒ニ暈倒ヲ
スルヲアリ一息ヲ撫テ絶按ヲ探リ出シ急ニ疔
根ヲ掘リ出スヘシ結核數ヲ不知ト虫ニ皮色變
セサル疔ノニシテ終ニ死ニ反フトキハ一身紫
色ニナルトイヘリ

捲簾疔

小兒病ナリ捲簾疔ハ古根ニ生シ大ナ小豆ノ如シ或ハ葡萄ノ如シ小兒古ナ卷テ以テ名ク急ニ刺テ膿ヲ出シ金鎖匕ヲ吹ヘシ

透腸疔

是痘疹后或ハ痘后及疔后ニ発スルモノナリ此患肛門ノ辺ニ小瘡ヲ生シ腹中膨悶煩湯シテ痛者油斷スヘカラス是多クハ透腸疔ナリ痔漏初起ハ疔思テ誤ルヘカラス命ヲ損スルナリ痛腸中ニ微ニ終ニ膿ヲナシ漸々紫黑色ニテ終ニ冷痛ニ及テ者ハ不日ニシテ墮脱ニ死入取疔多

又古人暴死ト云ハ準繩ニ是多ク疔毒ナリトアリ急ニ病人ヲ晴死ニ入シ灯ヲ以テ照シ見テ凡キハ小瘡紫泡常ニ発ナル者アリ及テ之ヲ灸テ胸腹温マルモノハ可救ト云リ然ルニ疔病ニテマハ疔ヲ灸ニ暈倒スル者アリ是介外ノ疔ナラニ急ニ一斬ヲ行テ可致半日ヲ過ルトキハ致口レナルナリ古人暴死ト云準繩ニ疔ナリト云ハ是疔病ニテ発ヤシ症ナラニ屢ニ經驗シテ此症ヲ知ヒリ多クハ肩脊凝リテ石ノ如キ者ナリ此疔疔病ハ夏月ニ多シテ天地不全ハ氣感ハ不ハ石ノ鹿ノトニ行キテ疔ヲ患ル者アリ何ハ疔

病ハ神經閉塞ニテ通セサルモハ若リ急ニ肩背
破血ニ五指間本中尺沢等刺絡スル血ヲ出ス
者ハ生出サレモハ死ス先ツ宝花散ヲ服サシ
シメ續テ行氣香積散或ハ黃連香薷飲ヲ服サシ
ムニ免角伏暑ノ治療ニテ可ナリ其地疔ノ名
敷入門ニ三十六疔瘍并大或重繩ニ五疔三十六
疔其他四疔アリ形狀治法暑前ニ同シサシリ形
狀異ナルト雖モ穴外ヲ以テ弁セシナリ
疔瘡治方總テ前ニ同シ故ニ此ニ暑ス此名敷ノ
ハ十大極ハ諸門ニ分テ出サリ疔瘡一切其後
ヲ忌ム是然毒甚シキ故火逆ニテ反テ變テ生ス

流注五名諸病
流ハ行ナリ注ハ住ナリ而テ血氣凝滯衰弱ニ由
テ致ス所ナリ其狀漫腫无頭皮色不変不論穴外
而生ス或ハ脇腹皮裡膜外結核ニ三年ナリ至テ血
氣ノ追々ニ衰弱シ順環スルヲ得スシテ逆ニ
膿潰スルアリ何レ陰沈ニシテ十二三ハ救ハル
コトヲ得ヘシ然レ皮色不変痛若シ左ホトナ
キハ夢リハ難治ナリ故ニ腰痛ヲ見テハ早ク
針シテ膿ヲ出ス后日ハ補劑ヲ用ヒ藥力及フト
ハ言ヲ得ヘシ腰痛未變者ハ瘍科流氣欠滿紅江

腹ニ至大腹管ヲラ己ニ腹年浮又羔左突
外先鋒蓋又内托裡消毒欠十全大補加附子ヲ
用ニ腹清リ少ナキモハ補功内托散ヲ用子有
契モハ増損十全大補湯ヲ用ユ或ハ咳嗽ヲ加
ルモハ八画王或ハ弓人榮湯ヲ用ユ至干粘
腰漸々ニ減ニ惡症ナリ実スルモハ吉ナリ針
后自汗日晡潮熱脈微数肌肉消枯スルモハ凶
又同キ症ニシテ漫腫時ニ因テ消長シ又時ニ因
テ患上大木冷痛スルモアリ或ハ漫腫敗ニシテ
遂ニ尺余モ軟刀ニナリ肌契アリテ遂ニ自潰
日ニ津液敗脱シテ遂ニ死ス是敗液流注ナムヲ
是ニ本症ナリ症ナリ腹ニ流注ヨリハ又一腹陰狀
ナリ是不治ノ症ナリト由ニ聞々初ニヨリ補功
内托散ヲ今年モ用ヒ自然ニ消腫散セシモナモ
アリ破出後ハ補利ヨリ外ハナシ
補應方
托裡消毒欠十全大補加附子湯
神功内托散増損十全大補湯
函王湯
滿紅經散
左突
唐科流氣欠
先鋒

芍
桂

吉

枳

烏藥

莖

當

芍

防

藥水

耳水香鼻藥

生

卷

第

廿

右水漿

溫毒流注

一ニ次腫ト云

附破傷溫腫

是

是一身ノ中本カヨリ疵ヲ受テイトハスシテ凡

温ニ襲ハレ或ハ俗ニ入ニ依テ疵口ヨリ風温流

注シ外在ヲ定テ腫起ス此患卒ニ発覺惡寒或ハ

振々ト地ニ抖シ脉數ニシテ微渴飲食進シ難ク

惡風腫痛動揺推シ先越赤魚ヲ服サシメ滿紅

紅煎ニ早キトキハナニセハハ消散スル

凡ノナリ若羊ヲ喝テ己ニ腫トナルニ及フ者ハ

膿管ニ針ヲ下シ膿ヲ出シ黒ハ中黄ヲ貼シ膿ハ

凡ニ速ニ消シ易キ膿潰后托清血シテ脱快ヲ見

ハスモノ十補大補ノ藥可撰用

準繩ニ云温入テ破傷温トナリ凡入テ破傷凡ト

ナリ是同症ナレトモ温表外ニ流注スルニ因テ

呼テ温毒流注ト云ナリ又云タハ瘡口温入テ腫

外ニ及ハス疵口ニ腫腫ナリ赤頭腐爛スルモ

ナリ是呼テ破傷温ト云同症少クシテ一旦輕症

敗波流注

凡ニ腫毒作血

產后惡露不尽遂ニ經絡ニ流注シ定外ナリ発ス

ルナリ此症色赤クシテ漫腫頭ナリ痛ト木痛ト

アリ何ヒニ治法同ニ先通經導滯湯ヲ用ヤ中黄

一

ヲ用蓋ス一シ十二五六八腰腹スレトモ中ニ
血令調理ヨキトキハ漸々消散スルナリ
又打撲損傷ニ因テ瘀血凝滯ル定知ナリ腫起ス
ルアリ是モ童后敗血流注ニ属スルナリ先ツ
ラント散ニテ蓋シ和經湯ヲ服ナシメ兩日三日
モ使極スルモハ桃仁承氣湯或ハ大成湯ニテ
五六下ヲトルニ腫已ニ成有ハ針ニテ膿血ヲ
出シ調血ノ策ナリ同テ治法前ニ同シ

桃仁承氣湯

主

持

芒

牡丹

五

右水漿

十餘大餅

麥下

野

門

一

和經湯

全上

通經導滯湯

方出

方

卷

諸

病

門

溫痰流注

香

木

附

一

一

一

一

一

此患所在

牙

不定

筋

一

筋

多

胸

腹

堅腫

文

ル

モ

ア

リ

或

漫

軟

或ハ

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此症

膿

潰

セ

又

モ

ナ

レ

加

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

五

香

流

氣

欠

可

撰

用

此

右水換

結核

肢節ニ結シ或ハ累々トシテ貫珠ヲ如甚シキハ
午ヨリ足ニ及ヒ或ハ偏身ニモ発ルモノアリ
時ニ痛ミ時ニ消スル者アリ是気滯于痰結スニ
同テ生スルナリ消痰湯服スニシ或ハ清温化痰
湯可換用

消痰湯

金花

天花

山茱

蒲公英

夏枯草

梅呂粉

蒼朮

前胡

右水換

痰飲

右水換

此患所在于不分トイヘトモ手足ニ及ミシ多ク午
臂ニ癰ス其形軟ニシテ漫腫シ痛ナク而千古下
痰泡ノ如キモノナリ必ス針スヘカラヌ清温化
痰ノ長服スルトキハ漸々消ミテ全治ス
ス云流注ヲ俗ニ馬癰ト云其他流注ノ名多シト
雖トモ此ニ畧ス

故ニ紅色ヲ不成前ニ先ニ亡沛散ヲ用ニ根ノ廣
キ者ハ乳岩ノ如ク體弱カヲ以テ生内上贅肉ト
ノ衆人ニ鑑見定人微々取生出入ノ跡亦金
創治方ニ隨証証其其他湯液ハ乳岩治療后ニ同
シ然リトイヘリ云創口ナト調トキハ十全流氣
欠或海藻玉壺湯消癰散ヲ兼用シテ長服ナス
細クシテ生肉ニ入リ少キ症ハ根ヲ指出久シ
糸ニテヨクシメテ其死ヨリ切ハナシ疣口
ナキ縫ヘ至至供易ナリナリシハトモ癰痛
其動脈ノナキ治癰散ニナシハ其心得同ニ動脈
ヲシ癰ヲ治ヲ施スヘシナカラ中ニ動脈ヲ

海藻玉壺湯

出動癰瘰癧同ナリ癰瘰癧ハ

十全流氣欠

全上ニ要ナシナリナリナリナリ

消癰散

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

血瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

癰瘰

一丸散癰瘰癧大ニ美ナリ味辛ニ

又此症ハ少シハ物湯ト委換用スハ逆ニ破
裂スル所ニ不治ト心得ヤシト云夫ハ本
氣塞中ニ有リ

又ク咽辺耳下胸乳間ニ生スルモノナリ喜怒
依テ消長シ時ニ同テ卒ニ紅色ニシテ先ツ
痛モ少クアレトモ起脹強ク咽ニ癰ヤシモノハ
半面ニモ種ニ遂ニ紫黑色ヲ癰シ遂ニ破潰シ
出血不止シテ死スルモノナリ大畧血癰ト同シ
ヤウナレトモ消長動氣大ニ疾ナリ初起ヨリ年
未自若トシテ卒ニ変ヲナスヲモアリ此症自潰

ニ及フトモハ不治ナリ先ツ行氣散ノ劑ヲ用

堅硬不移シテ癰スルモノナリ然ニ予未タ実見
セサル故委ク此ニ示サハルナリ

肉瘤

肉瘤ハ癰スル外不令不痛次ニ増長スルモノ
ナリ或ハ一年ヲ一テ患ヒ稀小ヲ流シ自潰ヲ催
スモアリ然レトモ紅実ノ者ハ自潰ヤサル前療
シテ治スルモノナリ虚弱者自潰スル者ハ多ハ
ナル症ハ大分六ヶシギ石ナリ其他治法内癰
ニオナシ

血瘤

血痛ハ多ク肉痛ノ如クシテ動氣奔馬ノ如ク初
起ヨリ患上一紅糸ヲ発シ時々以シテ痛アリ日
チメテ漸々長大皮色赤ク毛孔愈々開々出血
スルヲアリ此症ヲ有ルニ肉痛ニシテ動脈相會
ニ逐ニ自潰スルモノアリ毛孔ヨリ出血スルニ
至テハ動脈順行ニ難ク凝血甚クシテ動脈自破
スルモノナラン已ニ治セシト雖ハ先ツハ抑湯
ヲ用テモ頭上ニ氣鬱斂ヲ刺シ或蜜餞鉸ヲナシ
腐ルニ及ニテ餘々ニ毛引ニテトリ差ハ膏蛇ヲ
貼スニ此時ニ至テ病葉膜眩スルヲアリ蓮黃
解毒湯或ハ耳中黃連石脂加菴豆湯ノ麥用ニシ
薦葉ヲサシ半ハ變スルニ及テテ沸散ヲ用ヒイ
糸ニテ動脈ヲ共ニシテ餘々ニ切り下リ縫ヘ
テ此微ハ中ニ初心ノ毛ノ漫リニカヲ下スヘ
カラス漫リニカヲ下ストキハ則チ出血不止テ
即死スルヲアリ能々心得ヘシ虚脱ノ毛ノハ必
ス治ヲ施ス下ナカレ吐血ノ毛ノハ能々診シテ
治ヲ施スヘシ

筋瘤

筋瘤ハ堅シテ色紫青ナリ青筋蟠曲ナリ蚯蚓ノ如
シ此症調血ノ劑ヲ用エヘシ当飯建中湯ニ宜シ
漫リニ針ヲ下スヘカラス又云右惡脉ト云アリ
惡脉ハ身裡忽チ赤絡脉アリ蚯蚓死状ナリ

筋痛ハ筋アリ筋痛ニ似タリトモ必ス其ノ是
昏瘀血ノ一ナリ當飯建中湯ニ宜シ時々三角針
ヲ以テ少ク破血シ妙貼散ノ類又凡ノ

粉瘤

粉瘤ハ多ク上部ニ発ス初起硬クシテ運動スル
モノナリ此痰氣凝結ニ因テ成ルモノナリ破針
ヲ以テ頭ヲ破ルトモハ粉粉出具疼美ヲ貼シテ
引トモハ一旦治トイヘトモ不順ニシテ再発ス
故ニ全治セニト欲ハ初メ廣ク口出サテ膜ヲ
引出シ疵廣キハ縫ヘシ疵口探キハ不縫ニテ差
手貼シテ日シ又粉粉ヲ去リ腐菜ヲ押イハ内膿
針ヲ向ヘテ粉粉已去ルトキハ縫テ膜ヲ引出ス
之候外不出モノナリ然ルトキハ腐菜ヲ押入レ
テ可ナリ又粉瘤ニ貼テ粉粉黒キヲ黒砂瘤ト云
ナリ此等皆血ノ凝結ニ由リ血長キナリ

脂瘤

一名膠瘤

脂瘤ハ肉淺ク筋多キ処ニ生ス粉瘤ノ如リナレ
トモ又一旦硬ク非膠ノ如キモノ出有ナリ治方
粉瘤ノ如シト

髮瘤

是症腰中毛髮ヲ出スヲ云ナリ頭面ニ限ルナリ
是症皆粉瘤ニシテ肉ニ髮ヲ包ミアルナリ
骨瘤

此症額骨或ハ鼻板骨辺ニ旁リ生ス只骨痛シ
テ骨髓外ニ敗液ヲ聚ル外ルモ所ナリ此ヲ治
ルニハ口内ヨリ膿液ヲ又キ紐ヲ押入頭外卷木
綿シテ能クシメヨサヘコムヘキナリ又骨痛ノ
如クニシテ膿液ナク骨突リ出ルモノアリ此症
ハハ沸散ヲ用ヒ外皮ヲ切リ破リ尖骨ヲ削リ痰
口ヲ縫ヒ金釧治法ニ從テ可ナリ

胎瘤

此症皮淡色漫腫ミ肉少ク血多キ者ニテ已ニ血
瘤ノ如キモノナリ漫リニ針スマカラ又正宗ノ
五福化毒丹ヲ用ヒ青蛇ヲ可貶ハ毒ヲ吸ス

玄參 吉 茯苓 參 蓮 竜 且

青黛 牙硝 耳聾 氷片 金箔 硃砂

右癰疽

風瘤

一ニ蜘蛛瘡ト名ク当多ク長病后ニアルモノナ
リ膿或ハ風ヲ出シ内破敵ヲ貼シ少ク膿トナシ
瘡口ヲ収ムヘシ

楊梅瘡

夫楊梅瘡ハ以形言ナリ又微瘡ハ微ハ梅雨ハ梅
ニシテ且殆クト云意ナリ是油火傳染ニ依テ致
ス外ナリ楊梅瘡ト云ヒ綿花瘡破仁瘡ト云ヒ皆
形ナリテ名クルナリ初メ下疳便毒等ヲ愚毒筑

滲入于此症ヲ発スルナリ掃梅瘡ヲ発シ毒氣
内ニ滲テ不得止而外表而漏出ルニナリ然レ
所以ハ先ツ筋骨疼痛肌肉消枯或ハ眼ニ入り或
ハ頭痛等ノ症發スハ備ルナリ故ニ此症ヲ発ル
ト毒重シトス筋骨疼痛スル者ハ土骨皮加遺糧
或ハ羌活ヲ加フ内虛シテ肌肉枯スル者或ハ盜
汗起アリ身体疼痛シテ動搖シ難キモノ玄血散
雞肉丸三錢ヲ服スベシ己ニ眼ニ入ルモノハ灵
眼膏スルナリ荆防通明湯加石羔或ハ蒺藜散
ヲ鼻ヨリ吹ヘシ或ハ上衝甚シ物耳鳴リ又指頭
ヲ以テ推ストキハ頭色鐵青シテ頭痛ナクモハ
上攻眼中膿ヲ生ス痛ナリカスムモノハ芩苈湯
加薏苡菊花石羔ヲ用ユナシ若シ上攻頭痛強キ者
ハ圭支加木附細辛防風湯用ヘシ或ハ天石應鐘
散振頭散ノ類用ユヘシ

結毒

結毒ハ所在彰狀不定者ナリ是微毒内ニ結滯ニ
因テ所致ナリ生処不分挾ヲ結ヒ追々腐爛陷蝕
スル者或ハ毒骨髓ニ入り骨ヲ穿テ腐潰スル者
アリ此症ハ毒勇ク上攻シ頭腦ノ中ニ結ヒ長ク
頭痛シ遂ニ腫大スル者ナリ又或ハ毒肌肉骨髓
ニ結シテ少シク高ク堅腫塊ヲ生シ午ヲ以テ推
ヤハ不移蓋狂々夜劇ク痛者或ハ腠頭臂肘其他

諸節ニ結ニ堅硬ニシテ痛強ク或ハ骨節不能屈伸不伸行者或ハ毒動脈ニ入り凝滯シテ腫起シ日コヘテ破潰ニ出血ヲキモノ是結毒ノ不治ノ症ナリ此症多ク咽喉ノ両傍及耳下四逆或ハ缺盆ニ生ス又上肢動脈ニ入り者ハ至ツテ早シ其他諸処ニ至ク發スルトタヘトモナクハ然且結毒ニシテ動氣ヲツテ運轉セサルモノハ油斷スヘカラス此症血毒氣塵朱米等ノ症ニ紛レ易キナリ能ク氣ヲ付テ可診又毒面部顴骨或鼻被骨上三癰ニテ顴疽ノ如ク運轉セス又失采ノ如ク堅硬石ノ如クニ痛アリヨクテ少シク赤ク腫モリハ大イサ尺余ニ及フモノ漸ク血液敗脱シテ遂ニ死ス及フモノナリ大ニ恐ルヘキ症ニ然レトモ急ニ增長セス遲キモノハ二三年ニ自若タルナリ先ツ結毒小狹ヲ結ビ腐爛陷蝕スル者ハ破敵膏蛇ノ糞ヲ貼シ主支加木烏道毒凡ヲ兼用ス若シ漏トナリテ不愈者ハ見合破陣ス

青骨髓ニバリ骨ヲ穿テ腫起スルモノハ元腰ヲ見合破陣シテ繼テ可拊内主支加木烏葛根加リ者ハ糸毛引ヲ以テ可拔腐骨不出シテ治スルモノハ腰ニ次ヲニ破ニ早ク治スルモノハ久シク

腫出不愈モノハ何レ腐骨イッ少迄ハ治セ又

ノナリ

肌肉骨髓ニ結ニテ腫起スルモノハ主支加木烏
葛根加木烏或ハ土骨皮ニ五星化毒丸三合ヲ煎
用ニテ骨腫日々消スルモノハヨシ腫不消ハ久
クシテ遂ニ膿潰スニシ父化毒丸不効モノハ天
水丸一劑ヲ用ユニシ天水丸ニテ効ヲ奏セカル
モノハ以ニナリ若シ天水丸ニテ不消者ハ何レ
膿潰ヲ待ツニシ然リトイヘトモ天水丸三劑迄
用ユニシ天水丸三劑用セテ不効者ハ急ニ難治
ト知ルニシ此症下部骨腫消ニテ毒頭腦ニ及モ
ニハ毒腫シト知ルニシ此ルトモハ毒頭腦ノ
毒腫頭諸節或ハ胸乳肋骨ニ結ニテ生スル此
毒丸不効者ハ初ヨリ天水丸ヲ用ニシ其他処方
前ノ如シ毒動脈ニ入ル症ハ猛劑一帖不効外ニ
治法ナシ先以調血ノ劑ヲ可用実ニ不治ノ症ナ
リ

毒面部額骨ニ結ニ生スル症是不治ナリト虫臣
先ツ毒初本附ノ劑ニ猛裂劑ヲ兼用ニ毒氣ヲメ
クラレ且ツ毒ヲ導フトキハ十中三効リ毒ス
ル可アラニ且日ヲニテ破潰スルモノハ治法ナ
シ遂ニ膿十ラヌ及肉ニ同々出血シ遂ニ人面ヲ
矢スル程ニモ及フモノナリ実ニ此症ニ至テハ

恐ルニ此症ナリ

石癰

腫堅ニテ石ノ如シ癰ハ少ク微紅疸ハ皮色不変
ニ症トモニ久シク膿ヲナサヌ面癰ニ発スルハ
宜シカラツトリ此症毎スルニ結毒面部額骨
ニ結シ生スルナラニ

栝筋筋

此症皮膚ニ風熱客スルニ因テ所致ナリ初起粉
刺ノ如ク四面赤暈アリ少シ外熱アリト虫咬痛
トシ久ハ胸乳ニ発ス甚シキハ肩背ニ蔓ス
手ニ發目ノ如ク頑肉ニナリ漸々頑肉長大ナ
如ク長キハ蛇蛻ノ如トシ至テ見若シキ者ナリ
全治セント欲セハ根ヨリ能ク切り青蛇ヲ貼ヌ
一着根ヲ能ク取ラス頑肉少シク残ルトキハ
亦不日ニ而如元

火丹

丹毒

正

火丹此患ハ心火妄動シ三焦之風熱是ニ衆ルニ
因テ所致ナリ其発スルノ皮膚ノ表ニ発スヲ
胸乳腋間ニ生ス是ニ乾濕ノ二症アリ色紅ニミ
テ雲片ノ如ク瘡上風粟ヲ起シ痒ヲナシ発熱ス
ル是ヲ乾火丹或ハ火赤瘡トス十貼散ヲ用テ中
黄ヲ貼ヌ色白クシテ水泡大必相文正濕熱疼痛
黄水ヲ流ス有是濕火丹トス是脈經濕熱瘡也

因テ生スル外ナリ除濕胃苓湯用土羔中黃

ヲ照スヘシ

風毒ハ血熱ニ依テ肌虛ニ風熱襲搏ニ因テ所致

ナリ身熱所在ヲ不定忽然トシテ臑暈雲片ヲ焚

シ痛楚甚シク発熱乾嘔水ヲ好ミ追々痘狀ノ如

ク潰爛シ膿血ヲ出シ久シキトキハ遂ニ死ス小

兒患之則ハ最急ナリトス則正宗ニ云赤遊丹是

ナリ故ニ小兒患之トキハ赤遊丹ト云大人発之

トキハ丹毒ト云此症ニシテ毒氣内攻シ不潰爛

服服昏心嘔噦便閉スルモノナリ是内発丹毒ト

云ナリ毒初發十散加石或ハ外疔葛根加犀角連

翹湯用之

ニ六ツカシキモノナリ着シ毒氣快ク散セス已

ニ内伏スルモノハ不治毒内伏セヌ毒氣日々減

シ腐爛日々ニ減スルモノハ全安ヲ深ツ火丹ノ

毒ニ毒ノ輕重アリトイヘトモ火ハ丹毒ノ輕重

ナリ火丹无痛而有痒モノ風火丹ト名ク其地丹

毒諸名アリトイヘトモ病因同ニ故ニ治方モ又

同ニ故ニ是ニ畧ス

應用方

十味敗毒散 外麻葛根湯 黃連解毒湯

除濕胃苓散 赤白痢方 大戒

防 蒼朮 白朮 伏 礞 朴 猪

沢 杞 通中 滑石 吳 薄 圭

右水煎方代白木
化班解毒湯出清毒火門

赤白遊風

此症火丹ノ一症ニシテ形同シ様ナリト云赤暈
ノ内聚起ナリ定処ナリ追走スルヲ以テ異ナリ
トス朝ニ四支ニ発シ夕ニ肩背ニ発ス初癢微腫
痛ニ三日ヲヘルトキハ痛ハ止ム此症風熱塵滯
采衛宣ニキヲ失スルニ因テ致処ナリ色赤ハ四
物湯加紫胡山梔子赤白相交エルモノハ判防最
毒散氣血虚スルモノハ八味逍遙散補中益氣湯
ノ變換用スルモノニ症共ニ黒ハ中黃手貼ス少ス
白遊風ト云此症多ク疫癘其地熱或ハ一切之長
病等ヲ過テ身ヲ發スルモノナリ

大瘰風

大瘰風ハ是血氣不順或ハ天地肅殺ノ氣ト相搏
テ致ス所ナリ癰ニ天刑病ニテ或傳尸トナル
其患大木不仁紅斑ヲ發シ皮中虫ノ行カ知シ或
ハ口膠嚼針ニ或ハ肉觸ニ或ハ浮腫ヲ帶ルモノ
ナリ或ハ眉毛脱落ス一切是等ノ症ハ毒進ムト早
シトイヘトモ毒肉中ニ位スル故ニ先ツ治シ易
シ防風通聖散ニ端的花三金ヲ兼用ス面色赤ク
上衝強キニハ通天再造散ニ兼用ス外ニ補
天九ヲ服ス一經班アル所ハ破血ニ真君收貼

散ヲスルヘシ此症治シ易シトイヘトモ何レニ
三年ハ固ク養生スヘシ又此症ニシテ赤色ノ所
先リ強キハ治シ難トス又天刑毒筋ニ位スル
モノハ木不仁肌肉脱シ午指屈曲シ爪曲リ甚
シ下ハ遍身因脱シ時々自ラ不順ヤシ処水泡ヲ
癢ス先ツ水泡ヲ刺シ大赤ヲ貼シ内圭支加木烏
ニ消毒丸一合ヲ煎用シ煎ノ神天丸ヲ用エヘシ
此症ニシテ面部赤斑ヲ癢シ眉毛脱落スル症モ
アリ此症初起ハ赤斑ヲ癢ク癢セス先ス内脱シ
午指屈曲ノ症ヨリ起ル者ノナリ前症トハ遠ク
毒氣相残シ難ハ治ストイヘトモ肌肉脱ヤシ外
ノ木痺肌肉暗色ニシテ指頭落脱ス或ハ定規不
介深ク腐臭氣アリテ痛ナシ蒸ハ瓦突ニ楓子実
ヲスリ裏ニ貼スヘシ内圭支加木烏ニ消毒丸一分
ヲ煎子煎ノ如ク神天丸ヲ服スヘシ此症ニシテ
脱疽ノ如ク手足ノ指辛ニ痛シヲ癢シ墨腐ニナ
リ追々腐蝕スルモノアリ一切癰疾ハ疵アレハ
痛シナキナリ此症血氣動揺或ハ毒神經ヲツク
破痛シヲナスモノナリ急ニ木乃伊丸一二合ヲ
可用是此ノ症更ニ不愈症ナリ
又癰疾血氣衰弱因汗ナリ面色青黃心煩スルモ
ナハハ物湯ヲ用エテ洗フ
人血氣括痰ヲ奪掌風如年ヲ癢スルハ

味道遠散ニ判防地骨皮加服スシ治方名ハ
ニ詳ナリ是驚風ハ天刑ノ一症ナリ天刑ハ一
切種天凡チ不用トモハ治難シナリ一切灸灸
溫泉房夏ヲ堅ク禁ス又產婦惡露不尽シテ
癰ヲ発スル者ナリ此症至テ難治ナリ隨症而治
ヲ施スシ治方同前又別ニ癰風ト別年スレト
モヤハト癰疾ニシテ表部ニ癰疹ノ如キ癰シ或
ハ一身瘡ヲ発ス是癰風一若鳥癰風ト云又白癰
アリ初起一身所在不令白班ヲ発シ漸々ニ一身
ニ蔓シ臍赤ク一切毛髮落及シテホ痛痒ナク
是癰ニ不治ナリ然レトモ鳥癰トバ遠ニ癰蝕或
ハ一身白色ノミニナリ是モ癰ノ傳尸トハナ
ルナリ

白駭風

面及ヒ頸項ニ発シ身軀皮肉白ク臭々トシテ生
ス是熱皮膚ノ間ヲ血氣不和ニテ所致ナリ甚
キハ漸々ニ蔓ス至テ難治ノ症ナリ諸藥不効不
得止ハ大沸湯ヲ用ヒ燒燉ヲ以テ白班ヲ焼ヘシ
羔ハ破缺ノ差ニテ膿トナスハ是白癰ノ一正
ナリ

瘰癧風

風痰皮膚ノ間ニ伏留シテ所致ナリ頸迎胸乳及
腋下自然ニ班駭相連リ其色少ク白クシテ凡口

シ或ハ紫色ヲモリモアリ一切痛痒ナシ並症ノ
如クナレトモ白癩白駁風トハ少ク遠ニ白ク且
ツ紫色ノモノモアリカケトモ皮不起癩風ノ附
茶ヲ貼シ防風通聖散或ハ消風散并用撰用

紫白癩風

俗ニ汗斑ト云自ラ白癩風ト云紫ヲ紫癩風ト云
色紫ナルモノハ血滯ニ因ル白クナルモノハ氣
滯ニ因テナリ是皆邪熱風濕腫理ニ由リ白班ヲ
ナス少ク痒ク甚シキハ雲片ノ如ク癢ス搔クトキ
ハ皮起テ不痛甚シキハ白屑ノ如ク即癩風ノ附
茶ヌルニシ外ニ奇方アリ此症冬ヨリ春ニ至テ

及花瘡

一切及花瘡ハ二種物ニ非ス血癰瘡或ハ結毒其
外諸瘡風冷ヲ得血乾キ或ハ誤治或ハ瘡ハ不患日ヲ送り腎肉漸々突出シ遂ニ及花ニ
及者モアリ一切及花ハ慢リハ刀ヲ下ス一カラ
ス下ストハ鮮血大ニ出者ナリ故ニ先腐茶ヲ
貼シ漸々トルニ青蛇咬敵ノ毒ヲ貼スニ若
及肉不止者ハ不得止ハ沸ヲ服サシメ漸々ニ削
リメ今ナ取ルニ及肉ノ界目ヨリ取ラサルト
キハ一旦治ストイヘトモ不日ニシテ又ノ如シ
故ニ能々氣ヲ附テ治瘡療スニ根細キモノハ茶
線ヲ以テマトヒシメヲキ見合セ腐茶ヲ貼シ除

金創ノ治
法ニ從テ可ナリ

風癰疹

俗ニ云風ホコシナリ夫風癰疹ハ邪氣肌膚ニ客
スルヲ因テ生スルナリ皮膚癢痒不絶或ハ面部
只重ク甚キハ少ク腫ラ赤フ色微紅ニシテ疣瘡
ヲ癰ス明ニ癰シテタニ消ス浮萍湯ニ宜シ又同
症ニシテ風寒邪熱ト相搏テ致ヲ癰疹ト云敗毒
劑ニ宜シ又赤疹アリ乍十皮膚癢痒起リ赤疹ヲ
癰シ咬ム如シ又白疹アリ肌中風氣ヲ受
テ癰ス少ク痒リモ白疹ヲ癰ス明雨ニ逢フト

宜シ

疥癬

疥癬ハ皆脾經ノ濕熱或ハ風毒皮膚ニ客スルニ
由テ生スルナリ久ク不愈シテ延蔓追々遍身ニ
及フ浸淫潰爛或ハ痒ク或ハ痛ミ瘡中虫アリ其
形不同ナリ皆能ク人ニ傳染スル者ナリ疥ハ毒
浮モテ淺キモノナリ癬ハ毒深ク深ムモノナリ
疥癬ト云ハ兩症相擊テ生スルナリ俗ニ云皮膚
疥癬ト云唯先疥ニ五種アリ疥未痒痛ナリ十
種アルモノハ癰疹一二大疥ト云明起リク痒
痛少ナリ虫疥ト云疥赤細瘡膿出者ハ破疥ト
云膿清々冷癰疹ト云不腫破ト云水ヲ出スモノナリ

水瘰下云小瘡瘰_レニテ是_レヲ搗トキハ皮起テ乾_レ加
スルヲ乾_レ瘰ト云皮薄小瘰常ニ_レ湯汁ヲ出ス者ハ
濕瘰ト云是水瘰ヲ_レ其_レ他_レ各_レ狀_レ及_レトイヘモ
治法ハ一ナリ先初起敗毒劑加_レ及_レ鼻_レヲ服_レ寸シメ
追々出_レ透スルニ至_レ腫_レヲ見_レスモノハ芣湯ニ入
ラシムヘシ細瘰ニシテ若_レ出_レ兼_レルモノハ巴豆劑
ヲ以テ出_レ寸_レ出_レテ腫_レ無_レスルトキハ芣湯ニ入_レル
ヘシ后ハ從_レ草解毒湯ヲ服_レ寸シムヘシ或ハ出_レ透
后毒結ニテ愈_レ兼_レハモノハ瘰癧ノ一方ヲ塗_レリ内
當_レ飯_レ食_レ子_レ服_レスヘシ若_レ毒_レ内_レ伏_レスルトキハ小便
不利瘰_レ上_レ乾_レキ飲_レヲ好_レキ一身_レ腫_レヲ帶_レフ急ニ_レ我_レ俾
通利ヲ得_レテ追々瘰癧再_レ発_レスル者ハ_レ然_レルト
キハ東洋_レ赤_レ小_レ豆湯ニ_レ宜_レシ若_レ瘰癧久_レク不
愈シテ其_レ内_レ至_レ乎_レ足_レ帶_レ腫_レ毒_レ内_レ攻_レセ_レハ_レ欲_レスルモ
トイヘト云病_レ因_レ形_レ狀_レ同_レキ故_レ大_レ畧_レヲ示_レス
麻黃連軀赤豆湯

耳 軀 赤豆 麥 梓根 白皮 桂

右姜水浸
東洋赤小豆湯
仙遺種湯
諸瘰

大癰 諸風 濕熱 相搏 生スルモノナリ 其患肌
膚 癢 或ハ 丹リ 或ハ 斜ニシテ 大小一十
ヲ又 乾濕 新久ノ 畧ナルアリ 其名タトイヘドモ
病目一ナレハ 大畧ヲ示ス 所在不 分九ク 癢ニ相
連ルヲ 錢癬ト云 抓トキハ 爲湯出テ 虫ノ行カ如
ナラ 濕癬ト云 抓トキハ 卽チ 頑癬痛痒ヲ 不知モ
ハハ 風癬ト云 或ハ 頑癬ト云 其他手皮癬 狗皮癬
刀癬 馬皮癬等ノ名アレトモ 治方 莫ナラサル故
ニ是ニ畧ス 乾癬ハ 消風散ヲ服シ 外ニ 大黃羔
煎湯ス 風癬濕癬ニハ 當飯飯子 或存萍湯銀
荆湯ノ 變換用ス 錢癬癩瘡及頑枯スルモノハ
各 藥散口 大黃散ヲ 候 貼ス 一ニ 大黃散 癬アリ 面
癬ナラズ 女子ニマク 此症アリ 防風通聖散ニ宜
シ又 同症ニシテ 遍身ニ生シ 痛ヲナス 是ヲ 追風
瘡ト云 又正氣ニ 總四風ハヤハ 癬ハ 美十聖方
ユニ 甚ニテ 抓ハ 次亦ニ 項背ニ 延蔓ス 内防風通
聖散ヲ用テ 痒ニ 不止ハ 浮萍加 大黃湯ニ 宜シ 若
シ 不止者ハ 疥癬菜湯ニハ 宜シ

腰癰瘡

腰癰瘡ハ 腰理 虛スルニ 因テ 風濕ノ 氣襲入リ 血
氣 結聚シテ 致ス 所ナリ 其患 多ク 午足ニ 生ス 其
形ナ 菜葉ノ 大ナリ 如シテ 水泡ヲ 癢ニ 痒ヲ ナシ
后腰 及 脇 痛ヲ ナスナリ 或ハ 黃水ヲ 出スモ

八寸肥瘡ト名ケル中黄ヲ貼シテ内消風散或ハ浮
萍加天黃ハ委撲用スヘシ

浸淫瘡

浸淫瘡ハ風熱皮膚裡ニ客スル由テ生スル外ナ
リ細瘡一身所在ヲ不分ニ癢ス痒リシテ此ヲ狐
トキハ蔓ニテ癢けヲ出ス治法沸子ト同シキニ

瘰癧

瘰癧ハ子フトナリ熱癰ナリ大サ酸枣ノ如キ赤腫
ニ膿血アリ蓋ヲ貼スヘシ内托裡消毒欠ニ恒ニ

癰

正宗ニハ瘰癧ハアセホトナリ夏月汁ヲ出シテ

風通聖散ニ宜シ外天花粉ヲ又ルヘシ又古一云
沸瀾沸子トス烟アセホトナリ

瘡癰

此症ハ外氣虛シテ邪毒侵リ汗ヲ出シ汗出テ后

風氣ヲ受ルモ此ヲ癰ニ其形十疔ノ子ノ如
ク或ハ赤小豆ノ如ク肌膚ニ生ス痒シアリテ此

天泡瘡

數ヲ服シ不治モハハ當飯飲子ヲ服スヘシ蓋ハ
天泡瘡ト云天泡ハ夏月ニ多シ丹毒ノ變症ニ

テ又變皮膚ニ客スル由テ外ニ泄スルナリ

得テ故ニ此症ヲ癸ノ根赤シテ頭白ク至ツテ
以テ大サ山豆ノ如シテ痛ニ不可忍者アリヌク
午足ニ灸テ甚シキハ遍身ニ灸ス内防風通聖
散或ハ十味敗毒加石羔黃連并姜朮スヘシ羔ハ
中黃ヲ貼ス

白瘡

一ニ蛇身或ハ鱗体ト云一身疹疥ナキリ色白ク
瘡痒白屑起リテ臭穢ト如シ俗ニ蛇風ト云風邪
皮膚ニ客シ血氣枯燥スルニ由テ致ス所ナリ正
常ニ消風散ヲ服シ不治ハ神底養神丹ヲ用ユヘ
シ然レトモ妻ハ不治ナリ

瘡毒

瘡毒ハ初痒ヲナシ煩費ヲ癸ニ形奇癰疹ヲ如ク
甚シキハ破爛シテ水ヲ流ス人皮膚腠理不密ノ
新漆ノ毒熱ヲ受其氣ニ感セラレテ瘡スルナリ
香薷散ニ紫雲ヲ倍加シテ用ユ或ハ荊芥湯ニテ
洗瘡ヲナス有紫雲ヲ貼ス又諸瘡品中松脂ノ
質ニカニスルモノモ同受ナリ荊芥湯ニテ洗ヒ
紫雲ヲ貼スヘシ腐肉アル者ハ仙人羔ヲ貼スヘ
シ俗ニ羔瘡ト云

香薷散

香附 陳

藶

丹

生薑

石水煎

荊芥湯

血箭

血箭ハ先毛孔或ハ灸瘡ヨリ出血シテ止シ難シ
遂ニ脱シテ死ニ及フモアリ是心火盛ニシテ血
迫ルニヨツテ致ス所ナリ正宗涼血地黄湯或ハ
三黃湯ヲ用ユ出血止マナクハ灌水シテ可
ナリ

應用方

三黃湯

芩 柏 連

右水煎

涼血地黄湯

犀角 芍 黃連

苟

黃連

知母

芩

玄參

天門

血瘰

血瘰ハ肝經ノ怒火鬱結ニ因テ致ス所ナリ初起
其形ナ色紅ニシテ赤小豆ノ如ク皮ウスリシテ
時トシテ出血スルナリ血ヲ止メルニハ血勝龍
骨ノ赤ヲ甘ニシ湯液ハ血箭ノ如シ其キハ遂ニ
及花ニ及フモノアリ然ルトキハ大ニ六ツカシ
キナリ又或ハ破陣ホノ治メモ口殺ナラテ
ハ詳ナリ

奇撲

高

其汁不通ハ先ツ治衝ヲ以テ獲生ナシメ方カヲ

以テ口中緊急ヲ因キ家方固生散ヲ冷水ニテ服
スニ或ハ合谷ヲ刺モ可ナリ先瘀血滯リ痛ハ
和經湯ヲ用ユ一シ又フアントヲ以患処ヲ莖ス
一シ瘀血脹ニ滯リ便秘口乾者大成湯ニ宜シ
此症ニシテ血熱甚タシク或ハ諸語スル者ハ
桃仁承氣湯ニテ大ニ下ス一シ精神昏冒スル者
下劑ヲ以テ昏冒止ムモ一ヨシ不止モノハ補
劑ヲ用ユ一シ夢クハ精神脱シテ不救者ナリ脱
臼或骨節煩悩スルモノハ正骨術ニテ治ス一シ
体気

狐臭一ナリ之ヲ療セシト欲セハ銅箔ニテ酢ヲ
塗ルヲ七日而セ七日目ニ早天竺心ヲ以テ緊凡三
分ニテ下シ八日目ヨリ

金蜜陀 三錢 明礬 三錢

下子 五分

白物 全上

右為赤水ニテ煉リ付シ

阴虱

陰毛ニ虱ヲ生スル是ナリ甚シキモノハ腋下及

眉毛ニウツルモノナリ先毛ヲ能ク又キ百部根

露蜂房已上ニ味水煎シ一二日洗ヒ其アトヘ

黃柏 三錢 輕粉 三錢 難竟 全

右四味為赤水ニテ煉リ白ルヘシ 辰砂 二分

床瘡 正脈瘡

是レ床_ニレナリ病者長ク床_ニ臥テ血氣不順リ
腰腎爛スル者ナリ

竹木刺

竹木ノ委肉ニタナ其ソケ出テアルハ易シ其傍
抜キ羔ヲ貼シテヨシ若又深ク入ルモノハ拔針
ニテロヲ切リ肉ヲ引カケニテトルヘシ疵口大
ナルモノハハシク焼酒ニテ洗ヒアトヘ金創油
ヲ入レ羔ヲ貼スヘシ銀針或ハ釘ノ委タナテ日
ヲヘルトキハ追々深ク入ルモノ故ニ油新スヘ
カラス早ク口ヲ破リヌクヘシ若湯ヲ入り外ヲ
搏シ痛ムモノハ疵口ヘ蟻蛸ノ陰乾ヲシ破歟ニ
可ナリ

人咬傷

人怒ヲ発シテ咬傷スルトキハ毒氣甚シキモノ
ナリ指ナド咬ルトキハ及鼻傷ノ如ク腐蝕シ骨
質節近ク腐リ落ルモノナリ先早ケレハヨク血
ヲ止メ金創油ヲヌリ前衛ヲ貼スヘシ若腫シ強
キモノハ中黃ニ代フヘシ正宗ノ蟾蜍散モ宜シ
腐蝕スルニ及ブモノハ破歟或ハ左突ノ委可撲
用

風火傷

治及鼻傷

風火ニ咬レタルハ刷シキノモノナリ毒氣衝心ス
ルトキハ凶先赤水宜キ辛ノ委堅ク禁スヘシ疵

ロ人糞ヲシキ大灸シ中黄ニ雄黄煉リ交セ貼
又シ疵口腐爛スルモノニハ破敵加丹蒼宜シ
疑血スル処ハ破血ス一シ毒淺キモノハ荆敗加
雄黃腫シ強ク寒熱強キモノハ越木烏時々紫用
ニテ下ス一シ毒内攻セニト欲スルモノハ解毒
湯加犀角木鼈子ヲ用ユ然レ腹痛シテ狂ノ
如クナルモノハ心得一シ又ハ一蠍蟻ノ繪ヲリハ
シムルモヨシ外ニ奇カアリ

及鼻傷ハ早ク刮刺シ烏頭湯ヲ服セシメ雄黃中
黃ヲ貼ス一シ又或ハ豕椒散ヲ疵ノ内ニ塗ル
モヨシ或ハ及鼻散ヲ服シテ可ナリ若毒氣内
攻スルトハ大ニ忌ムナリ又ハ解毒湯加犀角
犀角ノ莖或ハ紫円ヲ少シツテ服ス一シ治療
早キハ堅ク内攻スルヲナシ屢經驗セリ

鼠毒ニハ十敗倍加茅根或ハ兼用ニ麝香ヲ日ニ
三合或ハ二分モ服スルモヨシ或ハ解毒湯加鼠
尾中ヲ服スルモヨシ又ハ雄黃中黃或ハテリヤ
一カニ塗モヨシ

誤吞針鍼骨鯁

針ヲ誤テ吞ハモノ其針多ク深ク下ハハ寸カラ
又モノナリヨクク指頭ニテ探リ外ヨリ取ヲ
旁ナトリ出ス一シ口内ヨリミユルヲナラハ布
目毛引ニテトホシ口傳アリ負ノ骨ノ咽ニ立
タレニハ酢一合ヲ五タニ煎ミ服セシム又外ニ

一奇方ア、斜上咽、ミツマ、タ、ル、ニ、ハ、胡、ハ、油、ニ、
亦、服、セ、シ、ム、又、酢、濃、更、ニ、用、エ、ル、モ、ヨ、シ、

中砒毒

砒毒ニ中リ、惡寒、發熱、口乾、キ、或ハ、腹中塊ヲ、結、ヒ、
時々、攻心ノ形アリ、服、黃、ミ、身、体、枯、瘦、ス、ル、モ、ノ、ニ、
至、リ、テ、ハ、六、ケ、敷、モ、ノ、十、ヶ、早、リ、黃、連、解毒湯、緑、豆、
ヲ、加、ヘ、可、用、黃、金、用、ヲ、裁、用、ス、シ、又、極品ノ、キ、ヤ、
マ、ニ、ホ、シ、テ、可、服、此、方、一、切、リ、ツ、セ、ル、生、々、乳、ノ、
毒、ヲ、製、ス、ル、聖、藥、ナ、リ、

内合諸症

鎖陰

生、レ、十、カ、ラ、ニ、シ、テ、患、ル、モ、ノ、アリ、又、難、産、ニ、シ、テ、
面、誤、テ、鉤、ニ、テ、破、レ、此、症、患、ル、モ、ノ、ア、男、生、十、カ、ラ、
ノ、症、ニ、輕、重、ニ、症、アリ、輕、症、ハ、阴、門、ノ、形、正、シ、ク、
外、口、薄、皮、ノ、如、キ、肉、鎖、シ、テ、アル、モ、ノ、ナ、リ、重、症、ハ、
肉、厚、ク、シ、テ、阴、内、子、宮、口、ヲ、鎖、シ、テ、アル、症、アリ、產、
后、ノ、鎖、阴、モ、肉、厚、ク、シ、テ、重、症、ニ、屬、ス、ル、モ、ノ、ナ、リ、
故、ニ、大、ニ、六、ケ、敷、モ、ノ、ナ、リ、先、ッ、輕、症、ヲ、療、セ、ニ、ト、
欲、セ、ハ、得、ト、指、頭、ニ、テ、擦、リ、何、処、ニ、テ、鎖、ス、カ、ヲ、見、
定、メ、テ、湯、ヲ、用、ビ、カ、ヲ、以、テ、破、リ、餘、皮、ヲ、接、シ、ト、リ、
漬、酒、ニ、テ、能、ク、洗、ビ、各、大、ナ、ラ、ハ、大、キ、十、八、張、質、ヲ、

平命ニ切リ白雲ニ蛇退皮未ヲ煉リ文ヤ血勝ヲ
スルヲ挾ミ入ルニシ又重症或ハ産后ノ鎖閉
ハ奥ノ方ニテ鎖ヲ薄膜ニ非ス四原ク成スル故
六ツカシキナリ上ハ尿道下ハ肛門終ニ薄膜ヲ
隔ル耳故ニ漫ラニカラ下スヘカラス既ニ療ヤ
ント欲ハ尿道ノ導水管ナリ下ハ肛門ノ指ヲ
入レ徐々ニ切リ同クニシ己ニ子宮ニ及ハント
スルトモハ妄リニカヲ下スヘカラス指頭ニテ
収メツメ肉ヲ閉ジヘシ治療四度ニ張質ヲ入レ
陰内ノ工合ヲ看メ術ヲ施スヘシ此症ニシテ徐
々ニ切リ同クトイヘトモ子宮上分リ難キモノ
ハ或ハ萎モシ或尿洩シ出ルモノナリ如此ニ十
ルトモハ全ク治シ難シ及テ禍ヲ招ク故ニ六ツ
カシキモノナリ断心得テ施治スヘシ此口廣ク
シテ膿出スルヲ曼キモノハ錐左或ハ紫雲ニ蛇
退皮未ヲ煉リマセ指スヘシ阴中ノ淺深ニ因テ
張質ヲ撰ミ用ユヘシ

鎖肛

男子ノ鎖肛ハ何レ生后早ク七日或ハ十日ノ内
ニ療ゼカレハ腹滿シテ死ス菊室ハ奥リアルモ
ノナリ然レトモ輕スナリ頭蓋ク針ヲ入ルモ
四ラズ直腸ハ多ク會陰ニ向ク者ナリ見ラシテ
努カセシムルトキハ六ツカセニハ萎肛ニ向

フ黒便少ク出ルヲ見計ヒ切張四分或ハ五分
玄字ニ切リ其四隅ヲ九ク切ルシ焦ハ白雲
退腹未ヲ煉リマセ大キナル紙徐ヲ推シ焦ヲス
リ抑シ入ルシ本綿ハ腹肚ノ卷末綿ニテ宜シ
子鎖肚タルヲ知ラサレハ十二五六八の内
ニ灸汁モノ出九ナリモト出サレモノモアリ早
ク療スルトキハ出サレナリモレサル症ハ男子
人如シ若シ内中へモレ出ルモノハ會阴ノ外破
ヲクナリ阴中ニ洩出ルモノナリ曲リ探リテ阴
中ヨリモレ出ル道ヲ傳ヘ探リテ榮ノ如ク探リ
テ出シ針ヲ下シテ穴ヲ穿テ會阴ノ外皮ヲ織月
アニテ切リ縫ルニ治方前ニ同シ

鎖鼻

生レナカウ鎖スルアリ痘ニ因テ鎖スルアリ
針ニテ鼻穴ナリニ切リ関キ頑肉是モノハ少
シク肉ヲ鑢シトルニ軟肉ハ取ニ及バズ接骨
水心ヲヨクタケ和ラケ接骨木針ハ分紙ニ堅ク
包ミ上下ヲヒ子リヤトニヲ指スニ深ク固
ル症ハ何レ深クナスニ然レトモ鼻梁骨ノ方
ニハセントニ薄ク又指スニ兩三日セツ
トニヲ指スニ夫レヨリ破敵ヲ三日指スニ
夫日ヨリ白雲ニ銘粉ヲヌリ抑入スニ己ニ因愈
此ニ至ツテハ接骨木ヲヤメ鼻孔大オノ如ク銘
粉ヲ拂フ少ク白雲ヲス膜上銘粉ヲツケ三日

或ハ五十日モナズシ其後ハ茶ナリシヲ鑄管
事ヲ半年或ハ一年モナズシ其後ハ茶ナリシヲ鑄管

鎖耳

鎖耳ハ至テマレナルモノナリヨク耳孔ヲ見定
メ板針ヲ以テ火シク三歩位モナシ火シク外皮
ノミセツトニヨナリナリシ其後鎖鼻ノ如ク
ナレトモ症ニヨリテハ穴條ク臭水湧カ如ク出
スルモノアリ此症ハロース口トールニテ日々
洗ヒ椰子油或ハ煎衣油之類ナスハ此症ナク
奥ニテ閉ス表ニテ開スルモノナリ

六指

嬰生絶無録ニ出ツ

此症ハ

此症ハ

此症ハ

此症ハ

故ニ胎前ノ本ヨリ胎骨ナ残ラヌヨリニ切リト
ルニシモノ枝骨少シク残ルトキハ愈后骨痛ノ
如キ頑固ヲ生ス見若シキナリ骨ハ白雲軟肉ハ
后衛口傳アリ

駝拇指

駝拇指ハ利獲ヲ以テ切リ外指ノ並マテ
切リ夫ヨリ三歩四歩マテモ龍鬚カヲ以テ外指
肉スルニ及テハ外指美ヨリ肉長シ過ルナリ膏
ハ白雲ニ蛇退皮ヲ子リマデ貼スニシ卷木綿傳
湯火傷大傷后ナ香准治ナリ

湯火傷ニテ所在ヲ不令屈曲スル症アリ引

知ヲ見定メ徐々ニ賛四ヲ龍驤カニテ抑リ屈曲
るルヲ伸ハスヘシ午足ノ屈曲スル症ハ筋上ヘ
浮腫モノアリ故ニ漫リニ添クカハカテス筋
ヲ緩シ徐々ニ引付ル四ヲ抑リテ伸オルモノハ
午術ヲ以テ筋ヲ伸スヘシ午足指木ハ漆木シテ
米シ因愈テ后添木ヲトルトキハ又引付ルモノ
ナリ故ニ長肉ノ后トモ久シク漆木ニテ
置ヘシ

求唇

突唇ニ似タリ故ニ武ヲ鬼唇ト云三ツ口ト云三
四脈ミテハ治療ズルモ苦シカラヌ五六ヤヨリ
スルトキ蜘蛛ヲスリカス月七羔ハ三十日ヲ經
テトルヘシ兎角兒ハ分抱カ專一ナリ又兩兔唇
アリ治療同シト分ヘトモ一方治ル年月或ハ百
日ヲヘテ治スヘシ又症ニ因テハ大カヤトテ六
七分モ外ヨリ針ヲ透ニ置テアリ此モカスカイ
ハカリナリ

小兒部

痘瘡

痘瘡ハ痘毒ノ餘毒アツリテ所在不令癢スルモ
ノナリ痘ハ骨ヨリ生スル者故兎角瘡ハ腐リ骨
ニ及ロモノナリ其内毒ヲ諸節ニ生ス此形漫腫
頭ナク痒ミアリ去サレテ熱ハ流注ナトホトニ
ハナキモノナリ膿アリト見ハ早ク可刺内十補
神功内托散ノ委宜シ雖ハ雞左外先鋒ヲ蓋シ中
ニハ腐骨出テ治スルモアリ又不出シテ治スル
モアリ附骨疽ノ如キモアリ節々ニ生スルモ
ト鉄ニ少ツハ屈伸ナスヲ專用ナリ其マハ捨テ
モ治シテ屈伸セヌモノ委方クアリヨク

痘疔

賊痘ト云云痘出透ノ中ニ色紫黒ニシテ熾熱シ
テ痛ミ甚シキモ是ナリ針ヲ下シテ青紫ヲ貼
スヘシ又破敵丹膏ヲ子リ交ヤ針口ヘ貼スルモ
ヨシ黄連解毒湯ニ宜シ

驚口瘡

小兒台上及上唇スヘ口中央ノ如ク一面ニ灸
スルナリ耳連ニ灸焦ヲ加ヘ用モシ
口内ヲスルニ金銀ニ氷硼散ノ變可吹入又一方
桑白皮黑霜トシテ吹入ベシ其効神ノ如シ

瘡風瘡

瘡落胎ノ后風邪襲入り漆瘡ノ如ク周身ヘ出テ
甚痒キモノナリ大連葉欠浮萍湯ノ灸ヒ可用外
荆艾湯或鹽床子散ニテ洗モヨシ若シ治シ難ル
モノハ耳朶先見陰用エヘシ

解顛

小兒解顛ハ二三々近キ灸スルモノナリ是神經
病ナリ初メ驚風搐搦驚風ノ形ナリ灸又愈テ后
十日或ハ十五日ヲヘテ天追膏筋高ク百會軟脹
動氣強リ時々上竅ノ氣味アリ此症身ハ半足痿
弱タルモノナリ日ヲヘテ腫レ次方ニ長シ然ル
ニ至テ小兒ニ不治ナリ又針ヲ下ス則ハ靈液イ
テ不日ニシテ死ス故ニ針ハ堅久忌ム先初灸

葛根加本烏ニ紫内時、兼用シ、服ス、シ、三日、日
ニ至テ頭蓋骨、シ、ニ、テ、モ、ユ、リ、腫、消、ス、ル、モ、其、ハ
治、ス、シ、然、ル、ト、キ、ハ、后、ニ、年、計、モ、久、服、ス、シ、某
ヲ、服、シ、テ、三、十、日、ニ、至、テ、次、有、ニ、腫、癰、タ、モ、ノ、ハ、終
ニ、自、潰、シ、テ、死、ス、或、ハ、急、驚、ヲ、奏、シ、テ、死、ス、シ、

胎風

胎、風、ハ、小、兒、初、生、一、身、湯、或、ハ、火、傷、ノ、如、ク、嫩、赤
突、熱、シ、肌、々、水、泡、ヲ、奏、ス、ル、是、孕、母、厚、味、ヲ、過、食、ス
ル、ニ、因、テ、ナ、リ、直、遙、散、ニ、ヨ、ロ、シ、奏、熱、強、キ、モ、ノ、ハ
敗、毒、最、ニ、重、シ、此、症、小、兒、百、日、ヲ、一、テ、傳、ル、ト、キ、ハ
玉、爛、瘡、ト、名、ス、治、法、同、シ、

胎赤

胎、赤、ハ、小、兒、初、生、ノ、月、裡、肌、膚、忽、ト、シ、テ、一、身、赤、ヲ
奏、ス、是、ナ、リ、是、胎、熱、ニ、因、テ、所、致、ナ、リ、連、亮、欠、ニ、宜
シ、又、眼、止、赤、爛、不、痊、モ、ノ、ハ、是、胎、赤、眼、ト、云、七、味、眼
洗、ニ、テ、洗、ヒ、内、連、亮、欠、ニ、宜、シ、

胎瘡

胎、瘡、ハ、水、温、ニ、備、ラ、レ、胎、爛、ハ、腫、ル、リ、ナ、リ、中、黃、ニ
宜、シ、内、割、方、敗、毒、散、ヲ、委、用、シ、胎、突、此、症、内、科、ハ
夏、ニ、シ、テ、芥、子、湯、ル、ル、ニ、ア、ラ、ス、故、ニ、畧、之、

陰腫

小、兒、陰、門、開、囊、腫、大、ヲ、ナ、ス、是、ナ、リ、皆、風、熱、温、氣、襲
テ、所、致、ナ、リ、内、敗、毒、散、ヲ、服、シ、外、中、黃、ヲ、貼、シ、テ
易、シ、

遺毒

遺毒初生所在不定メス爛斑シ或ハ頭瘡ヲ癸ス
是ハ胎乳母ヨリ傳染シモハ輕シ又母ヨリ遺毒
重シ皆連乳或ハ大餅毒湯端の丸景用スヘシ一
切大人ニ至リ遺毒不解シテ外々腐爛結毒ノ如
クナレトモ然シ結毒トハ返テ毒氣大ヒニユル
キモノナリ梅毒人ニ傳フト云ヘトモ遺毒ニ至
ルトキハ人ニハ傳染セヌモノナリ

遺毒初生所在不定メス爛斑シ或ハ頭瘡ヲ癸ス
是ハ胎乳母ヨリ傳染シモハ輕シ又母ヨリ遺毒
重シ皆連乳或ハ大餅毒湯端の丸景用スヘシ一
切大人ニ至リ遺毒不解シテ外々腐爛結毒ノ如
クナレトモ然シ結毒トハ返テ毒氣大ヒニユル
キモノナリ梅毒人ニ傳フト云ヘトモ遺毒ニ至
ルトキハ人ニハ傳染セヌモノナリ

一覽堂